HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

保証書付き
保証書は裏表紙に付いています

日立冷凍冷蔵庫 家庭用

型式

アール エイチ エックス ジー
R-H54XG

（R-H54XG型）

このたびは日立冷凍冷蔵庫をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この冷凍冷蔵庫は家庭用です。業務用や食品収納以外の目的にはご使用にならないでください。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、大切に保管してください。

「安全上のご注意」をお読みいただき正しくお使いください。→（P.4～5）

はじめてお使いになるときは、冷えるまで時間がかかります

庫内が冷えるまでに24時間以上かかることがあります。
→（P.7）

説明動画

**日立家電メンバーズクラブの
My家電への製品登録をおすすめします**

さまざまなサービスをご利用いただけます。

- ▶ 家電品の登録・管理
- ▶ お役立ち情報
- ▶ 安全点検サービス料金割引
- ▶ パーツショップ送料特典
- ▶ お知らせ

登録は
こちら

詳しくは →（P.2）

日本国内家庭用
Use only in Japan

日立家電メンバーズクラブのご案内

日立家電メンバーズクラブのMy家電に製品をご登録(無料)いただくとスマートフォンやパソコンでお持ちの家電品を一覧管理でき、サポート情報や会員限定の特典などをご利用いただけます。

■My家電への製品登録

①コードを読み取る

登録は
こちら

②画面の案内に従って家電品を登録※1

※1 家電品の登録には型式と色調が必要です。
冷蔵室ドア内側の銘版（シール）をご確認ください。
また、銘版（シール）に記載されているコードから登録することで、型式と色調の入力を省略できます。

●コードが読み取れない場合は、URLを入力して表示される画面の案内に従ってください。
https://kadenfan.hitachi.co.jp/my/

●ご利用の環境によっては、コードの読み取り、ページの表示ができない場合があります。

■日立家電メンバーズクラブ会員限定のアフターサービス特典のご紹介

▶安全点検サービス料金割引（web からの申込限定）

ご使用の家電品を長くご利用いただくための安全点検における標準技術料が、Web でご依頼いただくと 10% 引きになります。
※本サービスには、不具合の改善や修理作業などは含まれておりません。
※一部対象外製品がございます。

▶パーツショップ送料特典

付属品や別売品をパーツショップ（日立の家電消耗品・部品直販インターネット販売）で商品価格総額 2,000 円（税込）以上お買い上げいただくと送料が無料になります。
※代引きの場合は、代引き手数料が別途かかります。

詳しくは、日立家電メンバーズクラブのホームページをご覧ください。
※特典の内容は予告なく変更する場合がございます。

●ご利用の際は、通信費などの費用がかかります

その他サポートのご案内

■ よくあるご質問
■ お問い合わせ

●会員登録前でもご利用いただけます。
●ご利用の際は、通信費などの費用がかかります。

省エネのための上手な使いかた

1. ドアの開閉は少なく、開けている時間は短く
頻繁にドアを開閉したり、ドアを長い時間開けていると、冷気が逃げて電気のムダになります。

2. 食品の詰め込みすぎは禁物
食品を詰め込みすぎると、冷気の流れが悪くなり庫内が均一に冷えないばかりでなく、余分な電気を消費します。奥の壁が見える程度にすき間をあけてください。

3. 熱いものは冷ましてから
熱いものを入れると、庫内温度が上昇し、周りの食品温度も上げてしまいます。

4. 冷蔵庫の周囲に適度なすき間をあけて
周囲にすき間が少ない状態で設置すると、放熱ができず電気のムダになります。

5. 傷んだドアパッキングは取り替えて
傷んでいるパッキングのすき間から冷気が漏れて電気のムダになります。はがき等をはさんで落ちるようでしたら、パッキングを取り替えてください。

よくあるお問い合わせ

氷が**できない**ときは
→(P.29)

冷蔵庫が**冷えない**ときは
→(P.28)

霜や**露**が**つく**ときは
→(P.28、30)

もくじ

ご使用の前に

安全上のご注意 …… 4
準備する …… 6
使いはじめるまでの手順 …… 6
地震にそなえて …… 7
確認する …… 8
操作パネルのはたらき / 各室のなまえ …… 8
保存食品例 …… 9

使いかた

冷蔵室 …… 10
各部のなまえ …… 10
「まるごとチルド」を使う …… 10
食品を急いで冷やしたいとき（「クイック冷却」を使う） …… 11
ドアの開閉 …… 11
ポケット・棚の高さをかえる …… 12
小物ケースを使う …… 12
特鮮氷温ルーム …… 13
収納食品 …… 13
特鮮氷温ケースを開閉する …… 13
製氷室（自動製氷機） …… 14
氷をつくる（製氷） …… 14
氷の収納量・製氷時間 …… 15
急いで氷をつくる（急速製氷） …… 15
氷をつくらない（製氷停止） …… 15
「製氷」または、冷凍「強め・弱め」と冷蔵「弱め」のランプが点滅しているとき …… 15
冷凍室 …… 16
収納食品 / 食品を収納するとき …… 16
食品を急いで凍らせる（急速冷凍） …… 17
温度の調節（冷凍室） …… 17
野菜室 …… 18
収納食品 / 食品を収納するとき …… 18
野菜を保存するときのコツ …… 19
いろいろな機能 …… 20
温度微調節（冷蔵室・冷凍室） …… 20
ドアアラーム …… 21
ドアアラームと操作音の音量調整 …… 21
トリプルパワー脱臭（冷蔵室） …… 21
節電する …… 22
節電モード …… 22

お手入れ

お手入れ …… 23
電源プラグ / ドアパッキング …… 23
ドア表面 / 各棚・ポケット / 汁受け部 …… 23
冷蔵庫背面・側面・床 / ケース …… 23
特鮮氷温ルーム …… 24
給水タンク …… 24
製氷おそうじ …… 25
部品の取りはずしかた・取り付けかた …… 26
高さかわるん棚上段・中段 …… 26
高さかわるん棚下段 …… 26
固定棚 …… 26
棚しきり …… 26
ドアポケット …… 26
特鮮氷温ケース …… 26
製氷ケース（製氷室） …… 27
上段フリーザーケース（冷凍室上段） …… 27
薄物ケース・小物ケース・大物ケース（冷凍室下段） …… 27
上段ケース・下段ケース（野菜室） …… 27
引き出しドアの取りはずしかた・取り付けかた …… 27

お困りのときは・アフターサービス

お困りのときは …… 28
使いはじめ …… 28
冷えない …… 28
霜や露がつく …… 28
自動製氷 …… 29
操作パネルのランプが点滅している …… 30
野菜室が気になる …… 30
特鮮氷温ルームが気になる …… 31
ドアの段差や傾きが気になる …… 31
においが気になる …… 31
冷え過ぎる …… 31
冷蔵庫が熱くなる …… 31
音が気になる …… 32
その他 …… 33
移動・運搬の準備（引っ越しをする） …… 33
仕様 …… 34
消費電力量について …… 34
冷凍室の性能 …… 34
収納できる食品の重さの目安 …… 34
別売部品 …… 35
お客様ご相談窓口 …… 35
保証とアフターサービス …… 36
修理を依頼されるときは（出張修理） …… 36
保証書 …… 36

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを説明しています。
また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

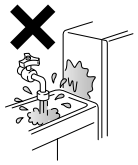
■ここに示した注記事項は、表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

⚠	「警告や注意を促す」内容です。
⃠	してはいけない「禁止」内容です。
❗	実行していただく「指示」内容です。

火災や感電、けがなどを防ぐために ⚠ 警告

設置するとき



水ぬれ禁止

- 屋外、水のかかるところや湿気の多いところに設置しない
  （絶縁が悪くなり感電・火災の原因）

アース線接続

- 湿気の多い場所・水気のある場所に設置するときはアース（接地）・漏電遮断器を取り付ける **→（P.7）**
  （販売店にご相談ください）

必ず実施

- 地震にそなえて転倒防止処置をする**→（P.7）**
- 冷蔵庫の周囲はすき間をあけて設置する**→（P.6）**
  （冷媒が漏れると滞留し、発火・爆発のおそれ）

電源や電源プラグ・コードは（感電・発火・火災の原因）

禁止

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
- 傷んだりコンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
- 傷つけない
  《傷つけのおそれのある取り扱い例》
  ・加工する　・束ねる　・ねじる　・引っ張る
  ・重い物をのせる　・はさみ込む　・無理に曲げる
  ・電源プラグを冷蔵庫で押しつける

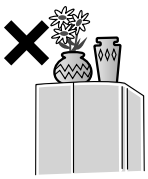
必ず実施

- 交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う
  （タコ足配線、延長コードは使用しない）
- コードを下向きに、電源プラグは根元まで確実に差し込む
- 必ず電源プラグを持って抜く
- お手入れの際は抜く**→（P.23）**
- 長期間使用しないときは抜く
- 定期的に電源プラグに付いたホコリを乾いた布でふき取る**→（P.23）**

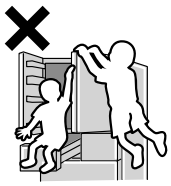
ふだん ご使用のとき

禁止

- 冷蔵庫本体や庫内に水やし尿をかけない
  （漏電・火災・感電の原因）
- 冷蔵庫の上にもの、特に水を入れた容器を置かない
  （けが・発火のおそれ）



- ドアや部品に無理な力をかけない
  （けがのおそれ）
  《無理な力がかかる例》
  ・ぶら下がる　・乗る（開けたドアなど）
  ・寄りかかる　・衝撃を加える
  ・ドアを大きく開けすぎる



- 自動製氷機の機械部には手を入れない（けがのおそれ）
- 以下のものは収納しない
  ・薬品や学術試料
  （厳密な温度管理が必要なものは保存不可）
  ・引火しやすいもの（引火・爆発のおそれ）
  ・ドライアイス（袋等に入れると破裂するおそれ）
- 庫内で電気製品を使用しない
- 可燃性スプレーを近くで使わない
- 霜取りを早く行うために機械的な器具、ドライヤーなどの熱器具または火気を使用しない
- 分解・修理・改造は絶対にしない
- 冷蔵庫本体にネジ等の鋭利なもので傷をつけない
- 部品が破損した状態のまま使用しない

（けが・感電・発火・火災のおそれ）

もしものとき（発火・火災の原因）

必ず実施

- 都市ガスなどの可燃性ガスが漏れたら、冷蔵庫やコンセントに触れず窓を開けて換気する
- 以下のときは販売店に相談する
  ・側面や天面（冷却回路）を傷つけたとき
  （換気をし、電気製品の使用を避け、販売店に相談）
  ・震災や水害に遭ったとき
  （電源を入れる前に販売店に相談）

火災や感電、けがなどを防ぐために ⚠ 警告

廃棄・リサイクルするとき

必ず実施

- **リサイクルや保管するときは、必ずドアパッキングを取りはずす**
  （幼児が閉じ込められるおそれ）

- **廃棄するときは、販売店や市町村に引き渡す**
  （放置して冷媒が漏れると、引火・爆発の原因）

異常・故障時には電源プラグを抜く

必ず実施

- 直ちに使用を中止し、販売店へ点検・修理を依頼する

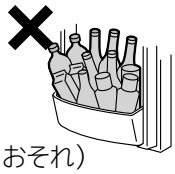
《異常・故障の例》
- ・電源コード・プラグが異常に熱い、深い傷や変形がある
- ・焦げくさいにおいがする
- ・ピリピリと電気を感じる

けがや事故などのおそれ ⚠ 注意

食品を収納するとき

禁止

- ガラス棚のガラス面を加熱したり、熱いものを置いたりしない
- ガラス棚に強い衝撃を加えない
（ガラス棚が割れて、けがをするおそれ）
- ドアポケットの底面まで入らないボトル類は入れない
- 食品をつめすぎたり、食品を棚より前に出さない
（食品の落下・けがのおそれ）

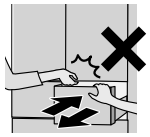


- 冷凍室にビン・缶類を入れない
（中身が凍って割れて、けがをするおそれ）
- 冷凍室の食品や容器（特に金属製）をぬれた手でさわらない（凍傷のおそれ）
- におったり、変色した食品は食べない
（腐敗により病気になるおそれ）

ドアを開閉するとき（けがのおそれ）

禁止

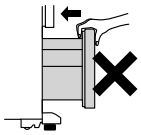
- 冷蔵室ドアのハンドルに手をかけたまま引き出しドアを開閉しない
- 最下段の引き出しドアに足を近づけすぎない



- ほかの人がさわっているときはドアを開閉しない
- ドアを強く開閉しない
（食品が落下するおそれ）

必ず実施

- ドアはハンドルを持って開閉する
（指をはさむおそれ）



- すき間が出来ないように確実にドアを閉める
（床に結露水や霜取りの水が滴下するおそれ）

注意

- ドア開閉時の異常（異音や摩耗粉など）に気付いた場合は、使用をやめて点検を依頼する
（部品の破損やそれによるけがのおそれ）

ドアを開閉するとき（けがのおそれ）（つづき）

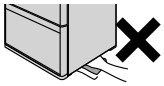
注意

- ドアを開いたまま、ほかのドアを開閉する場合には、開いたドアとの間で手や指をはさまないよう十分注意する

お手入れのとき

禁止

- 冷蔵庫底面に手や足を入れない
（けがのおそれ）



注意

- ガラス棚は重いため取り付け、取りはずしには十分注意する（棚が落下し、破損やけがのおそれ）

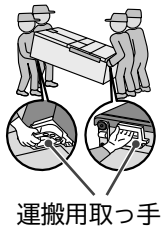
移動・運搬・設置のとき→（P.33）

禁止

- 横積み輸送はしない（故障の原因）
- ドアのハンドルを運搬時に使用しない
（手がすべり、けがの原因）
- 傷つきやすい床の上では冷蔵庫を引きずらない
（床を傷つける原因）

必ず実施

- 保護用のシート・布などを敷く
（床の傷つきのおそれ）
- 食品や氷を取り出し、給水タンクの水をすてる
- ドアが開かないよう、テープなどで固定する
- 電源プラグやコードがたれ下がらないよう、テープで固定する
（運搬中の事故・けがの原因）
- 運搬用取っ手を持って２人以上で運ぶ（手がすべり、けがの原因）



- 床が丈夫で水平なところに調節脚でしっかり固定する（冷蔵庫の転倒・けがの原因）

準備する

使いはじめるまでの手順

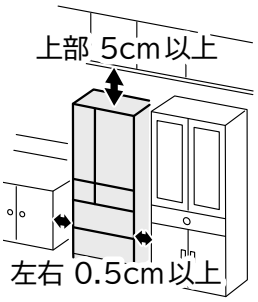
1 次のような場所に設置する

- 床が丈夫で、水平なところ
  じゅうたん、畳、フローリング、塩化ビニールなどの床が変形、変色するおそれがある場合は板（1cm厚以上）を敷いてください。
- 熱気・直射日光が少ないところ
  冷却力の低下や、電気代の増加をおさえます。
- 湿気が少なく、風通しの良いところ
  さびや結露をおさえます。
- テレビなどから離れたところ
  雑音や映像の乱れを防止します。

- 放熱スペースをあけてください。（右図）

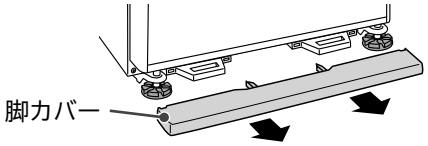
※本体側面中央部は表示寸法より大きめになる場合があります。
余裕を持って設置してください。

※振動音や、湿気が多いときの背面の結露、壁や壁紙の変色汚れが気になるときは、壁から離して**（2cm以上）**ください。



2 冷蔵庫を水平に調整・固定する

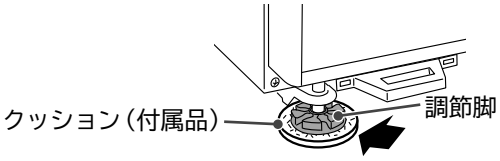
1 脚カバーを持って、手前に引いて取りはずす



2 クッションを調節脚の下に入れる

調節脚に対して、前後左右均等になるよう入れてください。

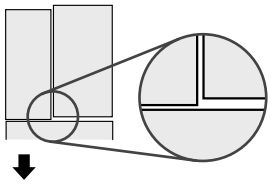
- クッションを入れる前に、調節脚と床面をきれいにふいてください。
  汚れがついていると、床面に傷がつく場合があります。



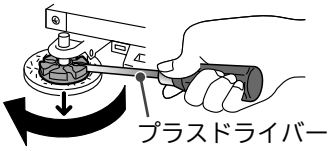
3 左右の調節脚を床に付くまで回す
冷蔵室の左右ドアが平行になるように調整する

調節脚を回す量は、ドア段差1mmにつき１回転を目安にしてください。
調節脚が回しにくいときは、プラスドライバーを差し込んで回してください。

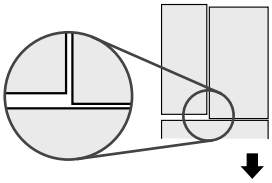
■左ドアが下がっている



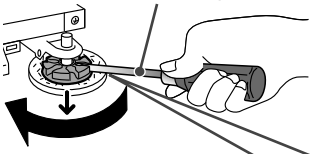
左の調節脚を時計回りに回して下げる



■右ドアが下がっている

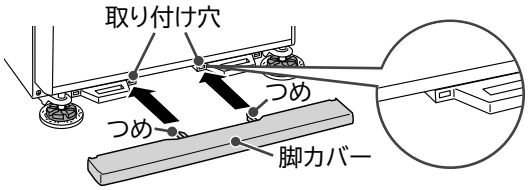


右の調節脚を時計回りに回して下げる



- 調節脚を回す際に、プラスドライバーで床面を傷つけないようにご注意ください。
- 調節脚を回しすぎると調節脚がはずれる場合があります。

4 脚カバーのつめを取り付け穴に差し込み、取り付ける

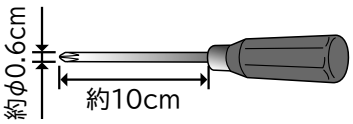


付属のクッション［2個］をご使用ください

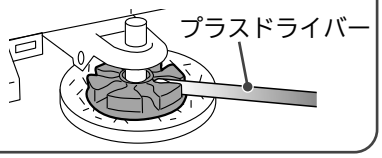
お知らせ

- 床材の強さや材質、食品の重みによって数日後（5日程度）にドアが下がることがあります。そのときは、もう一度ドアの平行調整をしてください。
- 冷蔵庫の設置する場所が水平でなかったり、床材がやわらかいときは、冷蔵室左右のドアに段差が生じる場合があります。
  機能上問題ありませんが、気になる場合は左記の手順でドアの平行調整を行ってください。
- 左右水平にし、冷蔵庫の前側をやや上げ気味に調整するとドアが閉まりやすくなり半ドアになりにくくなります。
- 冷蔵室ドアを開いた状態で手をはなしたとき、ドアが動く場合がありますが、故障ではありません。
- 調節脚を回してもドアの平行が直らない場合は、調整板（別売部品）をお使いください。→**（P.35）**

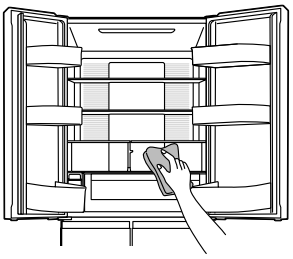
プラスドライバーのサイズの目安



プラスドライバーは調節脚の溝部分にしっかりと差し込み、回してください。



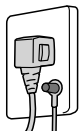
3 庫内を掃除する →(P.23~25)



- 湿らせたやわらかい布でふいたあと、乾いた布で仕上げてください。
- 給水タンクや浄水フィルターを水洗いしてください。

※引き出しレールやレールの接触面に塗られている潤滑剤は、ふき取らないでください。
（潤滑剤は、食品衛生法に適合しています）
※使いはじめは、プラスチックのにおいがする場合があります。
気になるときは、においがこもらないように部屋の風通しをよくしてください。（においは次第に消えます）

4 電源プラグを差し込む



設置後、すぐに電源プラグを差し込んでも問題ありません。
コンセントは単独で使用してください。（交流100V、定格15A以上）

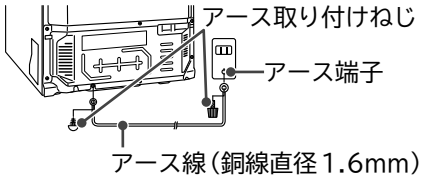
- 電源プラグやコードが冷蔵庫背面と壁との間にはさまれていないか確認してください。コードの発熱を防ぎます。

庫内の冷却がはじまります（冷蔵室とほかの貯蔵室（製氷室・冷凍室・野菜室）を交互に冷やします）

- 冷蔵庫の周囲の温度や、食品の収納状態によって庫内が十分に**冷えるまでに24時間以上**かかることがあります。
  アイスクリームや冷えていない食品、傷みやすい食品は庫内が十分冷えるまで入れないでください。
- はじめて自動製氷をお使いのときは、手順に従い自動製氷機の**「製氷おそうじ」**をしてください。→(P.25)
- 製氷運転は庫内が十分冷えてから開始されます。
  （使いはじめは、**最初の氷ができるまでに24時間以上**かかることもあります）
- 庫内温度が低いときなどは電源プラグを差し込んでから10分程度冷却が始まらないことがあります。

万一の感電防止のためにアース（接地）をおすすめします。

- アース線（お買い上げの販売店などでお買い求めください）をコンセントのアース端子と背面左下のアース取り付けねじに接続してください。



アース線を接続してはならないところ

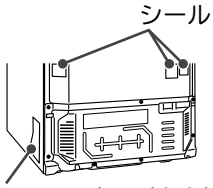
- 水道管（感電の危険）
- ガス管（爆発の危険）
- 電話線や避雷針のアース（落雷のとき危険）

※法令などで禁止されています。

※コンセントにアース端子がないときは、お買い上げの販売店などにアース工事（別料金）を依頼してください。
※湿気の多い場所・水気のある場所（土間など）に設置するときは、必ずアースを取り付けてください。また、アースのほかに漏電遮断器の設置が義務付けられています。お買い上げの販売店にご相談ください。

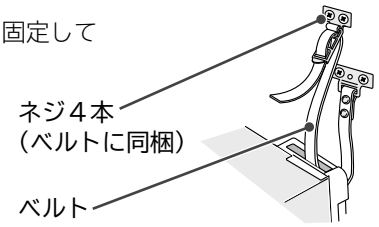
お知らせ

- **配管の防さび処理が必要となる場合があります。**
  温泉地域や工業地域周辺、下水配管の近くなどに冷蔵庫を設置する場合、硫化ガスの影響で配管が腐食することがあります。
  販売店にご相談ください。なお、配管が黒く変色する等、ガス害による故障は保証の対象外となります。
- **電源プラグを差し込んだ後、運転音がします。また、冷蔵庫が十分に冷えるまで、コンプレッサーやファンの音が大きいと感じることがあります。**
- 背面のシールをはがしたり、側面下部のプラスチック部品をはずさないでください。
- マグネットや吸盤を本体やドアの表面に付けた場合、跡が残る場合があります。
- 周囲の湿度が高いとき、ドア表面に紙などを貼ると、ドア表面に露がついたり、紙が吸湿する場合があります。



地震にそなえて

地震に備えるため冷蔵庫用地震転倒防止ベルト（別売部品）を2セット使用し、丈夫な壁や柱に固定していただくことをおすすめします。→(P.35)

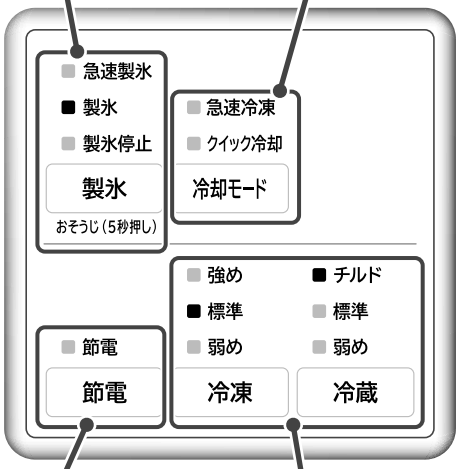


確認する

操作パネルのはたらき

製氷
- 急速製氷→(P.15)
- 製氷　→(P.14)
- 製氷停止→(P.15)

冷却モード
- 急速冷凍　→(P.17)
- クイック冷却 →(P.11)



節電
各室の冷却を少し弱めて節電します。
- 節電→(P.22)

冷凍・冷蔵
冷凍室、冷蔵室の庫内温度を3段階に調節できます。
- 温度の調節→(P.10、17、20)

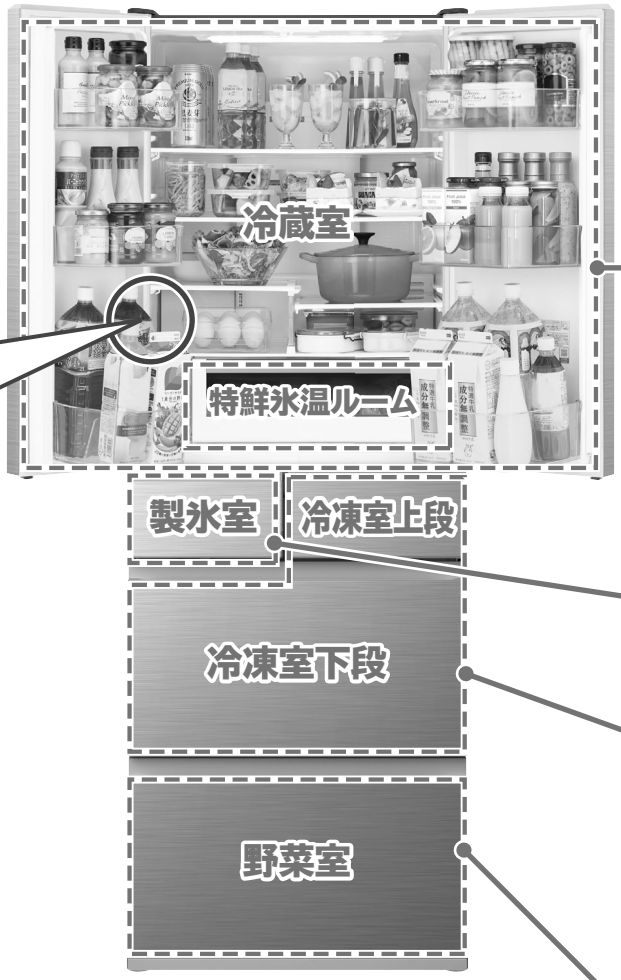
お願い

操作パネルには強い衝撃を与えたり、硬いものを当てたりしないでください。

お知らせ

- 「冷却モード」は、「急速冷凍」または「クイック冷却」のどちらか一方をお選びいただけます。
- 操作パネルのランプが点滅しているときは→(P.30)
- 「点字シール」をご用意しています。
  パネルに貼り付けていただくと、ボタンの位置と操作内容がわかるようになります。
  ご希望の方は、商品情報や使い方に関するご相談窓口へご連絡をお願いします。→(P.35)

各室のなまえ



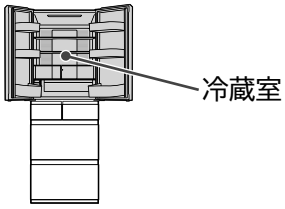
保存食品例

保存場所		温度の目安	食品
冷蔵室 →(P.10) ※「チルド」設定のとき	棚	約0℃～3℃	日常的に使う食品 サラダ　ケーキ　豆腐　乳酸菌飲料　プリン 鍋に入れた食品　生卵　調味料　ビール　牛乳　ペットボトル バター　チーズ　カットした果物
	ドアポケット	約0℃～7℃	
	特鮮氷温ルーム →(P.13)	約－2℃～0℃	肉・魚介類など生鮮食品 肉　魚介類　かまぼこ　ちくわ　ウインナー
製氷室 →(P.14)		約－19℃～－17℃	自動製氷でつくった氷 それ以外の氷や食品は入れないでください。
冷凍室 →(P.16) ※「標準」設定のとき	冷凍室上段	約－19℃～－17℃	コーヒー豆　茶葉　うどん　食パン
	冷凍室下段	約－20℃～－18℃	肉・魚介類　アイスクリーム　冷凍食品　ごはん
野菜室 →(P.18)	上段ケース	約4℃～9℃	使いかけの野菜や小物野菜、果物など トマト　イチゴ　グレープフルーツ　ピーマン　しいたけ
	下段ケース		葉物野菜、大物野菜など ホウレンソウ　小松菜　キャベツ　レタス たて収納スペース 背の高い野菜やペットボトルなど きゅうり　にんじん　ペットボトル

※温度の目安は、ご購入時の庫内温度の設定で、冷蔵庫の周囲温度約32℃で食品を入れずにドアを閉め、温度が安定したときの目安です。
※食品の収納状態やドアの開閉などにより、温度が変動する場合があります。

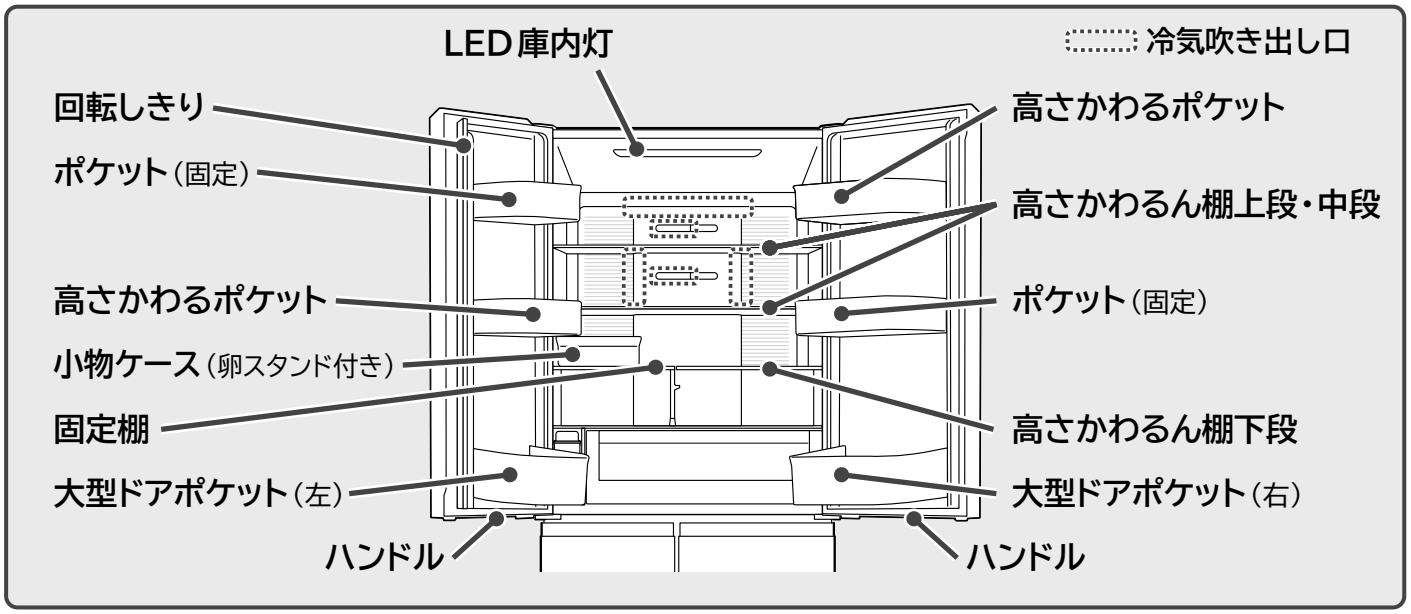
保存のコツ
- 食品はすき間をあけて収納してください。
- においの強い食品はラップをすることをおすすめします。
- 収納できる食品の重さの目安があります。→(P.34)

冷蔵室



うるおい冷蔵室は、たっぷりのうるおい冷気で食品を保存します。

各部のなまえ



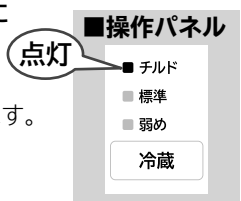
お願い

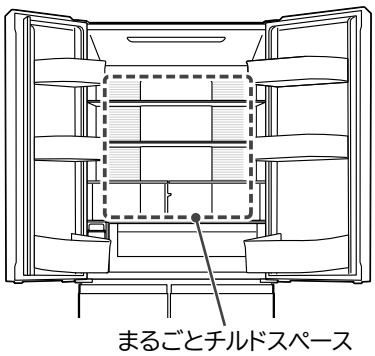
- 水分が多い食品や缶飲料は、冷気吹き出し口の前に置くと凍ったり破裂するおそれがあるので、冷気吹き出し口の前に置かないでください。特に「チルド」設定時はより凍りやすくなります。
  蓋やラップをすることで食品の凍結を抑えることができます。
- 米、海苔などの乾燥食品を収納する際は、密閉した容器（袋）に入れてから収納してください。
  乾燥食品が吸湿することがあります。
- 温かい食品を保存したときやドア開閉をしたときに、食品や空気中にふくまれる水分により冷蔵室内に露がつくことがあります。気になる場合は乾いた布でふき取ってください。

「まるごとチルド」を使う

※ご購入時は、「まるごとチルド」に設定されています。

- **冷蔵室全段（まるごとチルドスペース）をより低温にします。**
  （設定時：約0～3℃）作り置きの総菜などの保存におすすめです。
  温かい食品を保存するときは、**手で持てるくらいの温度（50℃以下）に冷ましてから**入れてください。やけどや棚の変形を防ぎます。
- 「まるごとチルド」に設定されているかは操作パネルで確認できます。
  「チルド」ランプが点灯している間は「まるごとチルド」の設定になっています。





お知らせ

- **「まるごとチルド」**設定時は、「標準」よりも消費電力量が多くなります。
  また、運転音が大きくなることがあります。
- **「まるごとチルド」**設定時は、ポケットの温度も「標準」より低くなります。

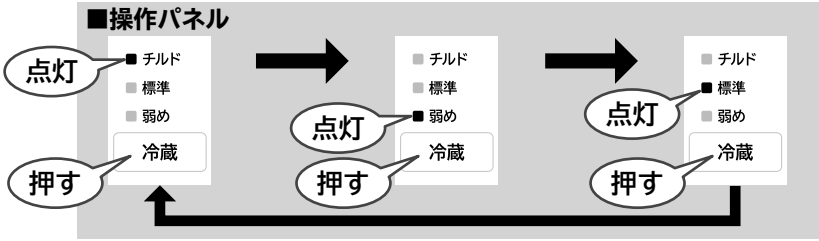
変更するとき

冷蔵 を押して温度の変更をする

冷えすぎると感じるときは、「標準」または「弱め」でお使いください。

冷蔵室温度の目安

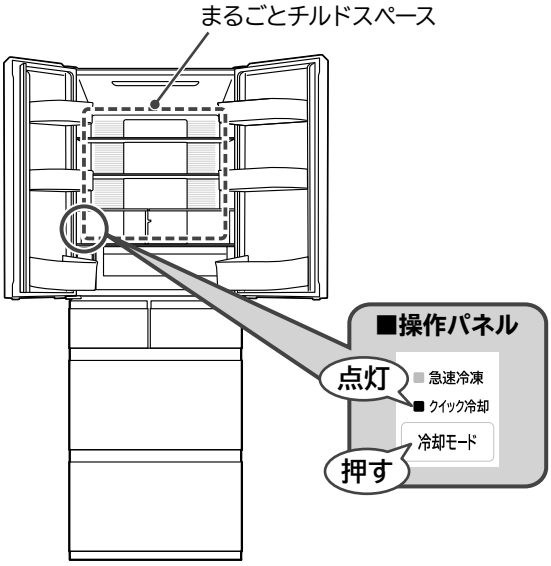
「標準」は「チルド」より約1～3℃高め
「弱め」は「標準」より約1～3℃高め



食品を急いで冷やしたいとき（「クイック冷却」を使う）

食品を急いで冷やしたいときに、「まるごとチルドスペース」の冷却を強める運転をします。

温かい食品の冷却および加熱調理後のあら熱とりの時間を短縮できます。
お出かけ前のお弁当、飲料、加熱調理後の野菜などをすばやく冷やしたいときにおすすめです。
温かい食品を収納するときは**手で持てるくらいの温度（50℃以下）に冷ましてから**入れてください。
やけどや棚の変形を防ぎます。



設定するとき

ご購入時は、「切」（消灯）に設定されています。

冷却モード を押して「クイック冷却」ランプを点灯させる

約60分で運転を自動終了し、「クイック冷却」ランプが消灯します。
冷蔵室の温度によっては60分以上運転することがあります。

途中で解除するとき

冷却モード を押して「クイック冷却」ランプを消灯させる

お知らせ

- 「クイック冷却」と「急速冷凍」は同時には設定できません。
- 「クイック冷却」設定時は、解除時よりも消費電力量が多くなります。
- 「クイック冷却」を連続で使用すると庫内の食品が凍結する場合があります。
- 「まるごとチルド」設定中でも使用できます。

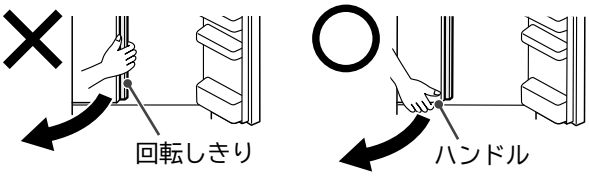
ドアの開閉

お願い　ドアを強く開けすぎたり、開いたドアに寄りかかるなどして無理な力を加えないでください。（ドアが破損するおそれ）

ドアの開閉はハンドルを持って行います。

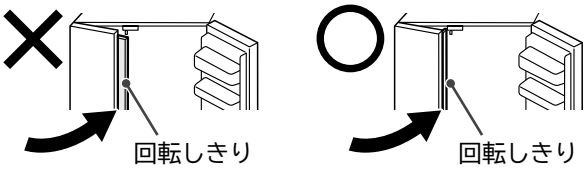
■ドアを開ける場合

回転しきりを持って開けないでください。
（ドアを開けることができません）

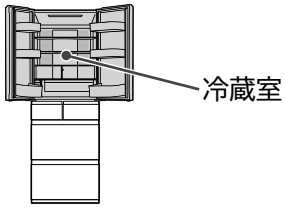


■ドアを閉める場合

回転しきりを起こした状態でドアを閉めないでください。
（ドアが完全に閉まらなくなります）



冷蔵室 ～つづき～



ポケット・棚の高さをかえる

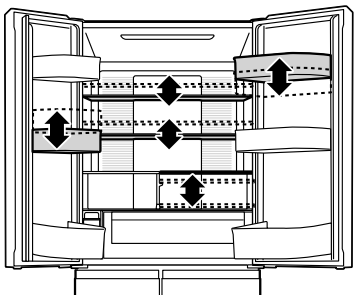
食品や飲料の大きさにあわせてポケットや棚の位置をかえることができます。
取りはずしかた・取り付けかた →(P.26)

⚠注意

■ガラス棚を取り扱う場合
- ガラス棚に強い衝撃を加えない（ガラス棚が割れてけがをするおそれ）
- ガラス棚は重いため取り付け、取りはずしには十分注意する

■高さかわるん棚上段・高さかわるん棚中段・高さかわるん棚下段・高さかわるポケット

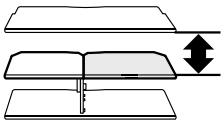
食品や飲料の高さに応じて、調節できます。



冷蔵室の食品収納スペースの目安→**(P.34)**は下記の配置で算出しています。

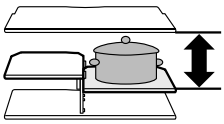
高さかわるん棚上段	上から２段目
高さかわるん棚中段	上から４段目
高さかわるん棚下段	上段→**(下記参照)**
高さかわるポケット（右ドア）	上段
高さかわるポケット（左ドア）	下段

- ご購入時の状態



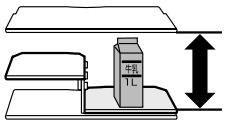
上段

- なべの収納など



中段

- 牛乳パックの収納など

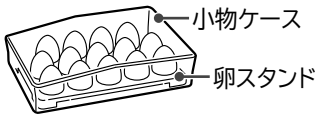


下段

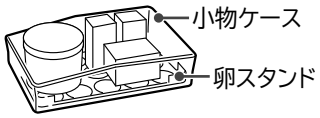
小物ケースを使う

小物や卵などを入れて、冷蔵室内に置くことができます。

卵スタンドを使うと卵を14個収納できます。
卵パックのまま収納することもできます。



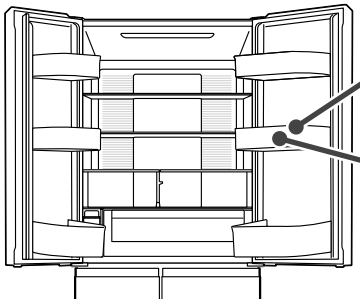
卵スタンドを裏返すと小物食品を入れることができます。



お願い

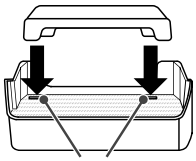
- 取り扱いはケースをしっかりと持って行ってください。
- 落下する可能性があるので、食品は積み重ねて収納しないでください。
- このケースで氷をつくらないでください。（ケースが破損するおそれ）
- 冷気吹き出し口付近に置くと、食品が凍結したり破裂したりするおそれがあります。冷気吹き出し口付近からはなれた位置でご使用ください。
- 棚より前にだして置かないでください。
- 収納する食品の高さに注意してください。（食品が落下するおそれ）

卵スタンドはポケットに置いて使うこともできます。



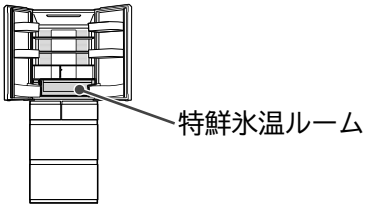
ポケット（固定）

卵スタンド
卵スタンドは
ポケットの突起
に引っ掛けて
セットしてください。

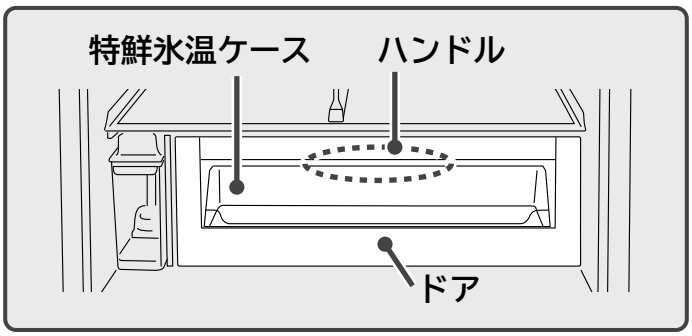


突起（左右）

特鮮氷温ルーム



鮮度と栄養素を守っておいしく保存できます。



収納食品

特鮮氷温ルーム （約−2℃〜0℃）	● **肉類・肉の加工品** 牛肉・豚肉・鶏肉・ハム・ソーセージなど ● **魚介類・海産物・魚の加工品** サバ・ブリ・アジ・イクラ・練り物など ● **肉や魚の解凍** ・水分の多い食品は凍る場合があります。

ご注意

- 周囲温度が低いとき、水分の多い食品は凍ることがあります。
- 冷蔵室・冷凍室の温度設定を変更すると、特鮮氷温ルームの温度も変動します。
- **特鮮氷温ルームには、食品や容器を無理に詰め込まないでください。**
  特鮮氷温ケースを引き出すことができなくなることがあります。

■特鮮氷温ルームに向かない食品　以下の食品は、凍結が苦手です。冷蔵室で保存してください。

- **乳製品**

チーズなど

- **カットした野菜や果物**

カットした生野菜、カットした果物

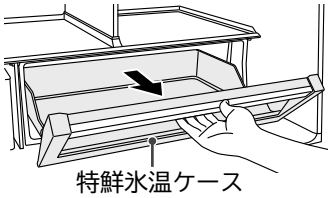
- **凍るとスが入るもの**

豆腐、こんにゃく、厚揚げ、しらたき、ゆで卵など

特鮮氷温ケースを開閉する

開けるとき

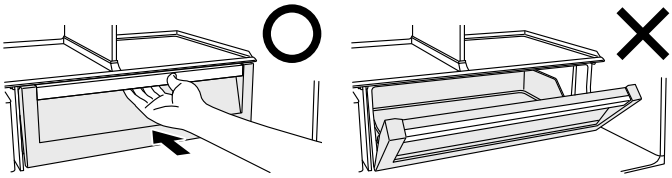
ハンドルを持って特鮮氷温ケースを手前に引き出す



※冷蔵室の左右のドアを両方開けずに特鮮氷温ケースを手前に引き出すと部品が破損することがあります。

閉めるとき

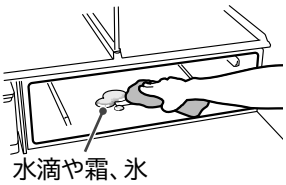
特鮮氷温ケースを奥まで押し込む



※奥まで押し込んでから冷蔵室ドアを閉めてください。

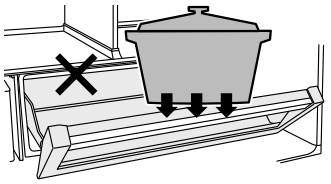
ご注意

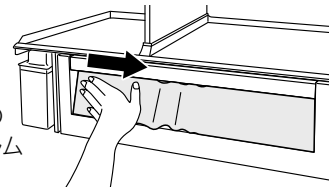
- **特鮮氷温ケースを奥まで押し込まずに冷蔵室ドアを閉めると部品や食品などが破損したり、ドアにすき間ができ冷えが悪いなどの原因になります。**



お願い

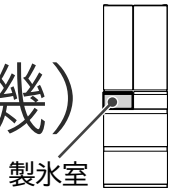
- 食品や空気中にふくまれる水分により、ルーム内に水滴や霜、氷がつくことがあります。やわらかい布にぬるま湯をふくませてふき取ってください。（水滴や霜、氷がついても性能に支障ありません）
- 水滴や霜、氷が気になる場合は、収納食品にラップすることをおすすめします。
- ルーム内に水や食品の汁をこぼした場合は、すぐにふき取ってください。→**（P.24）**
- 食品の包装がはさまったときは、取り除いてください。
- 特鮮氷温ケースを開けている最中に、ドアに重いものを乗せないでください。
- ドア表面の透明部分には保護フィルムが差し込んであります。
  そのままご使用されても性能に支障ありませんが、気になる場合ははずしてご使用ください。



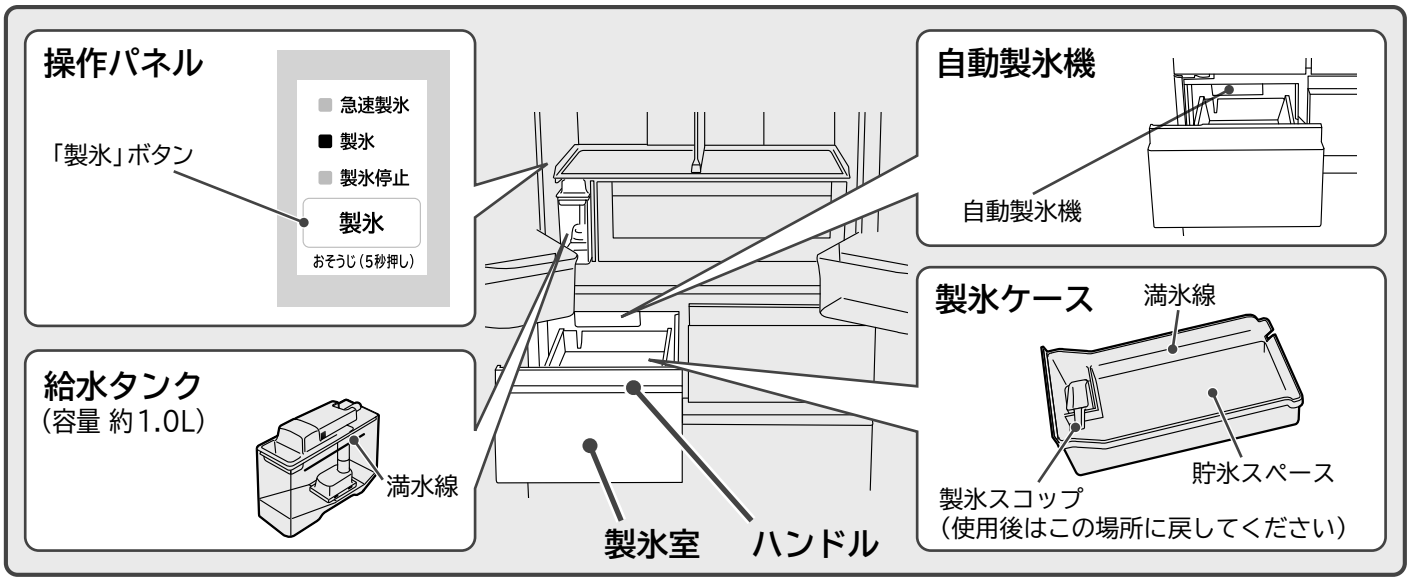


保護フィルムをはずすときは絵のように端から中央に向けてフィルムをひき、はずしてください。

製氷室（自動製氷機）



自動で氷をつくります。

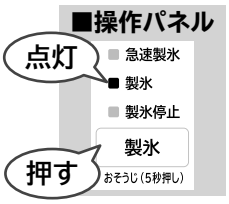


氷をつくる（製氷）

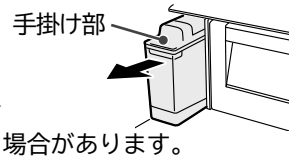
はじめて氷をつくるときや、1週間以上氷をつくらなかったときは、「製氷おそうじ」をしてください。→（P.25）

1 製氷 を押して「製氷」ランプを点灯させる

ご購入時は、製氷「入」（点灯）に設定されています。

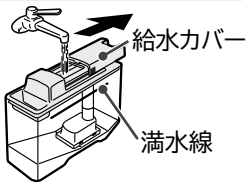


2 給水タンクを水平に引き出す



※給水タンクを持ち上げて手前に引くと重く感じる場合があります。

3 給水カバーを開けて水を入れる



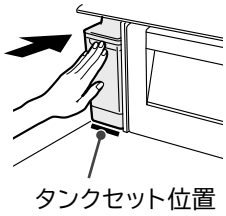
※「満水線」以上は水を入れないでください。

4 給水タンクをセットする

「タンクセット位置」の線を越えるように、奥までしっかりと押し込んでください。

奥までしっかり押し込む

給水タンクが奥まで押し込まれていないと、氷ができません。



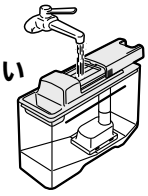
※給水タンクを傾けると水がこぼれることがあります。水がこぼれたときは、すぐにふき取ってください。

5 自動で製氷運転が始まります

- 製氷ケースの満氷線まで氷がたまると、自動製氷機能が一時停止します。氷が少なくなると自動で再開します。
- 製氷ケース内に氷がないときは、製氷皿から氷が落ちる音が大きく聞こえるときがあります。

お願い

○ **●水道水での製氷をおすすめします。給水タンクは1週間に1回以上水洗いしてください。→（P.24）**



- ミネラルウォーター、井戸水、浄水器の水、湯冷ましなど（塩素を含まない水）で製氷する場合は、こまめに給水タンクを洗ってください。ぬめりや雑菌の発生をおさえます。

※ミネラル成分の多い水でつくった氷を水に入れると、白い浮遊物（ミネラル成分）がでることがありますが、害はありません。

ミネラルウォーター
（硬度：100mg/L以下）

浄水器の水

井戸水
（水質基準を満足するもの）

✕ ●水以外のものを使用しないでください。
故障や、変形、氷のくっつきなどの原因になります。

ジュース類

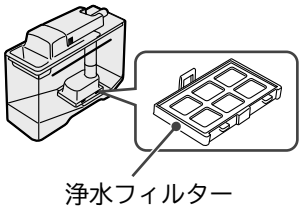
スポーツドリンク

炭酸飲料

お茶

お知らせ

- 浄水フィルターの中には活性炭が入っているため、外側の不織布が濡れると中の活性炭が透けて見えることがあります。


浄水フィルター

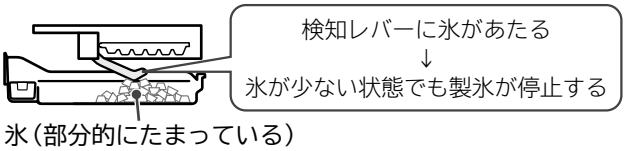
氷の収納量・製氷時間

型式		R-H54XG
氷の収納量	氷をならした状態	約140個
1回(12個)の製氷時間	通常の「製氷」	約110分～140分
	「急速製氷」	約80分

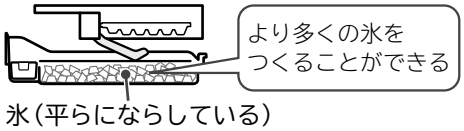
※周囲温度約30℃、冷凍室温度設定「標準」、冷蔵室温度設定「チルド」、ドア開閉なしのときの目安値です。

お知らせ

- **氷が部分的にたまると、氷が少ない状態でも製氷が停止することがあります。**



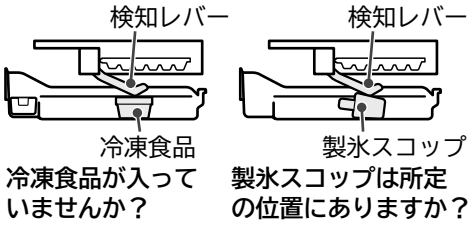
- **氷を手前に寄せ、平らにならすことにより、より多くの氷をつくることができます。**



- **次のようなときは、氷ができるまでの時間が長くかかります。**
  - ・はじめてお使いのとき(24時間以上かかることがあります)
  - ・冷凍室の温度設定が「弱め」のとき
  - ・冷蔵庫に大量の食品を一度に入れたとき
  - ・「節電モード」に設定しているとき
  - ・ドアの開閉が多いとき
  - ・冷凍室や製氷室が半ドアになっているとき
  - ・冬場など周りの温度が低いとき
  - ・停電があったとき

お願い

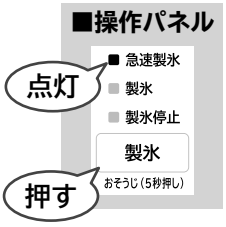
- 貯氷スペースには、自動製氷機でつくった氷以外の冷凍食品や製氷スコップなどを入れないでください。氷ができなくなったりします。(製氷機の部品が食品にあたり、ドアが開かなくなったり、部品が破損することがあります)
- 製氷室のドアは、ゆっくりと開閉してください。
  勢いよく開閉すると、製氷ケースから氷がこぼれ、冷凍室下段に落ちることがあります。



急いで氷をつくる(急速製氷)

製氷 を押して「急速製氷」ランプを点灯させる

約7時間で運転を自動終了し、「製氷」に切り替わります。



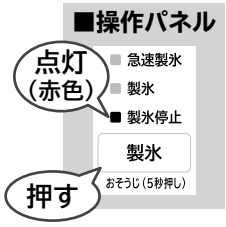
お知らせ

- 「急速製氷」運転時は冷凍室を優先して冷却しますので、冷蔵室のドア開閉が多いときなど冷蔵室の温度が上がりやすくなります。
- 「急速製氷」運転中は「急速製氷」ランプが点灯し続けます。

氷をつくらない(製氷停止)

製氷 を押して「製氷停止」ランプを点灯させる

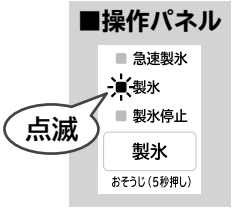
※1週間以上「製氷停止」にするときは「製氷おそうじ」をしてください。
→(P.24、25)



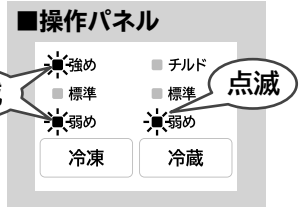
「製氷」または、冷凍「強め・弱め」と冷蔵「弱め」のランプが点滅しているとき

製氷皿が製氷ケース内の食品にあたっている可能性があります。

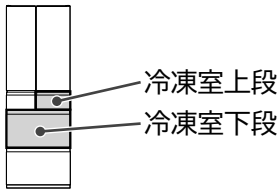
一度製氷ケース内を空にして、「製氷おそうじ」をしてください。**→(P.25)**



または



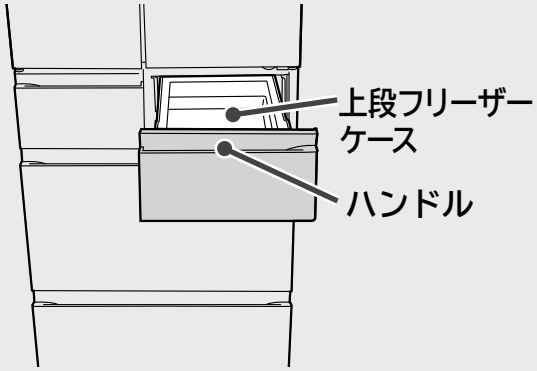
冷凍室



３段ケースでたっぷりすっきりおいしく冷凍します。

冷凍室上段

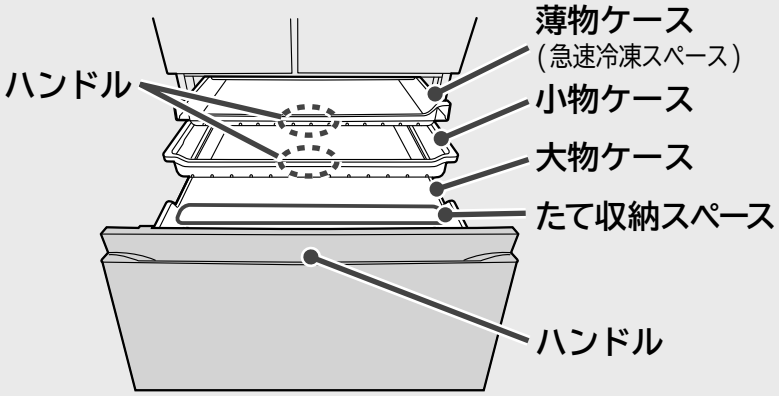
日常使う食品や、使いかけの食品を保存する際に、ご使用ください。



冷凍室下段

３段ケースでたっぷり収納できて、スッキリ整理ができます。

長く保存する食品や、溶けやすいアイスクリームなどの収納に適しています。



ご注意

- **薄物ケースおよび小物ケースは、ハンドルを持って操作してください。指をはさみ、けがの原因になります。**

収納食品

冷凍室上段		フリージングパック、密閉容器、食パンなど
冷凍室下段	薄物ケース	小物冷凍食品など (急速冷凍スペース) 肉・魚やごはんをすばやく冷凍するとき
	小物ケース	フリージングパック、密閉容器など
	大物ケース	冷凍食品、アイスクリームなど (たて収納スペース) 冷凍専用ペットボトルなど

- **温かい食品を保存するときは、手で持てるくらいの温度（50℃以下）に冷ましてから入れてください。**

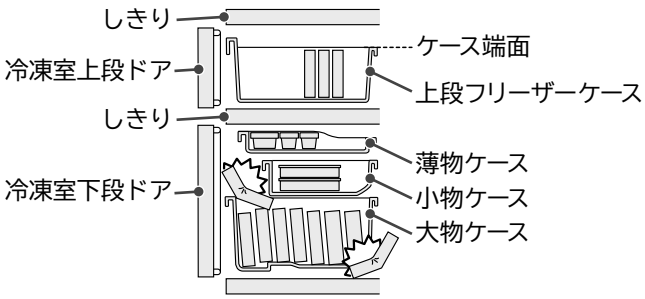
食品を収納するとき

食品の種類や大きさに合わせて収納します。収納する食品の高さは各ケースの端面を目安にしてください。食品が上のケースやしきりに触れないように収納します。

ドアが確実に閉まらなくなり、冷えが悪くなることがあります。また、食品や各ケースが破損することがあります。

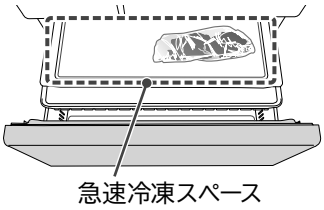
ご注意

- **薄物ケースにペットボトルを入れないでください。ペットボトルが凍ると膨張して取り出せなくなります。**
- 薄物ケースおよび小物ケースを取りはずしたまま使用しないでください。ケース奥側に食品が落ちて、ドアが閉まらなくなることがあります。
- 冷凍対応ペットボトルなど、凍らせてもよい食品のみ収納してください。



食品を急いで凍らせる（急速冷凍）

温かい食品を保存するときは、手で持てるくらいの温度（50℃以下）に冷ましてから入れてください。



設定するとき

冷却モード を押して「急速冷凍」ランプを点灯させる

約90分で運転を自動終了し、「急速冷凍」ランプが消灯します。

途中で解除するとき

冷却モード を押して「急速冷凍」ランプを消灯させる

お知らせ

- 「クイック冷却」と「急速冷凍」は同時には設定できません。
- 「急速冷凍」運転時は冷凍室を優先して冷却しますので、冷蔵室のドア開閉が多いときなど冷蔵室の温度が上がりやすくなります。
- 「急速冷凍」運転終了後60分以内に、再び「急速冷凍」を設定すると、「急速冷凍」ランプは点灯しますが、「急速冷凍」運転は約60分経過してから運転を行います。冷蔵室の温度が上がることを防ぐためです。
- 食品は積み重ねずに置くと、より効率よく冷凍することができます。
- 「急速冷凍」運転中は通常よりも消費電力量が多くなります。

温度の調節（冷凍室）

冷凍 を押して温度の変更をする

ご購入時は、「標準」に設定されています。通常は「標準」の設定でお使いください。
夏場などに、冷えが悪いと感じるときは、「強め」でお使いください。

冷凍室温度の目安
「強め」は「標準」より約2～4℃低め
「弱め」は「標準」より約2～4℃高め

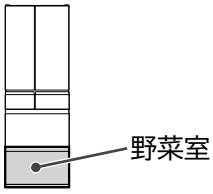
お願い

冷えすぎると感じるときは、「標準」または「弱め」でご使用ください。

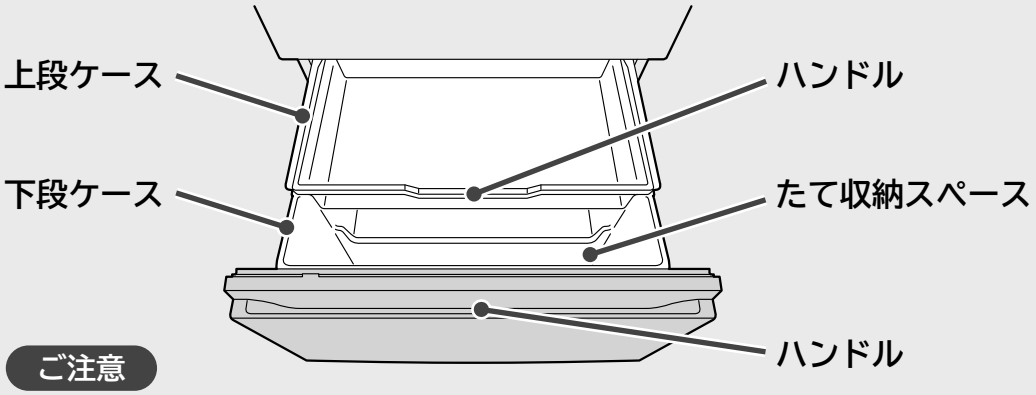
お知らせ

- 庫内の温度は使用条件により多少変動します。
- 温度をさらに細かく調節することもできます。→**(P.20)**
- 冷凍室「強め」は「標準」設定に比べ、消費電力量が多くなります。
- 冷凍室の温度設定を変更すると、製氷室の温度も変わります。

野菜室



野菜から出る水分を野菜室内に閉じ込め、野菜の乾燥を抑えます。



ご注意

- 上段ケースは、ハンドルを持って操作してください。
  指をはさみ、けがの原因になります。

収納食品

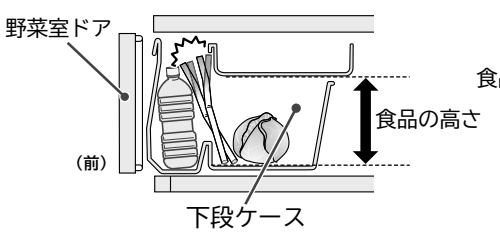
上段ケース	使いかけの野菜や小物野菜、果物など トマト　ピーマン　イチゴ　グレープフルーツ
下段ケース	葉物野菜、大物野菜など ホウレンソウ　小松菜　チンゲンサイ　ブロッコリー　キャベツ　レタス たて収納スペース　背の高い野菜（きゅうり、アスパラガスなど）、2Lペットボトルなど

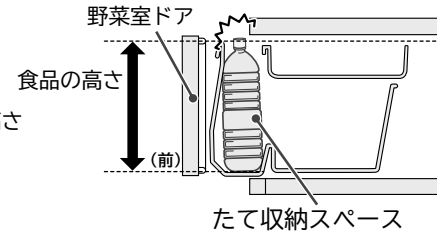
食品を収納するとき

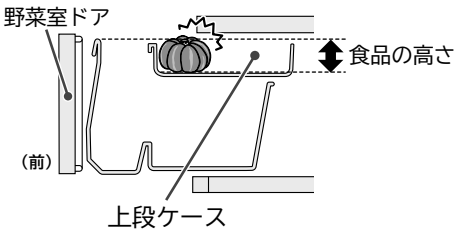
食品の種類や大きさに合わせて収納します。

- **収納する食品の高さに注意してください。**
  - ・ドアが確実に閉まらなくなり、冷えが悪くなることがあります。また、食品や各ケースが破損することがあります。
  - ・食品やペットボトルの種類により収納できない場合があります。
- **上段ケースを取りはずしたまま使用しないでください。**
  - ・ケース奥側に食品が落ちて、ドアが閉まらなくなることがあります。
- **無理に食品、飲料などを押し込まないでください。**
  - ・食品や各ケースが破損することがあります。
- **野菜室のドアは、ゆっくり開閉してください。**
  - ・勢いよく開閉しますと、たて収納スペースの食品（ペットボトルなど）が転倒することがあります。

高さの目安







野菜を保存するときのコツ

種類	保存するときのコツ	種類	保存するときのコツ
キャベツ　レタス	芯をくり抜き、ぬらしたペーパータオルを詰めて保存。	ホウレンソウ　小松菜　チンゲンサイ	傷んだ葉を取り除いて、立てて保存。
大根　にんじん	葉がついている場合は葉を落として保存。		
ブロッコリー	ビニール袋に入れて保存。	アスパラガス	立てて保存。
かぼちゃ（カット）	種の部分を取り除いて保存。	しいたけ	傘を下にして保存。（水気が多い場合は紙袋に入れて保存）
きゅうり	水気をよくふき取って立てて保存。	しょうが	水気をよくふき取って保存。

■常温保存がおすすめの野菜

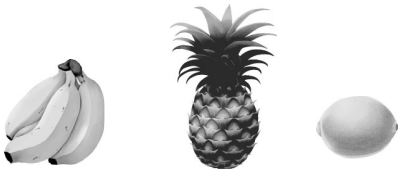
- にんにく、玉ねぎ、じゃがいも、さつまいも、かぼちゃ（丸ごと）は冷暗所（室内温度が一定で低めに保たれ、直射日光が当たらない場所）に保存することをおすすめします。

■低温障害を起こしやすい食品

長期間野菜室に入れると食品によって、色が変わったり、味が落ちたりします。また、ビタミンCが減ったり、カビが生えたり、腐りはじめたりすることもあります。

- 野菜…トマト、ピーマン、きゅうり、なす、さやいんげん、さつまいも、おくら など

- 果物…バナナ、パイナップル、マンゴー、パパイヤ、アボカド、レモン など



食べる前に短時間冷蔵庫で冷やすとおいしく食べられます。

こんなときは

- 野菜が少ないときは、高い湿度を保てないことがありますので、ラップをして保存してください。
- 野菜室は湿度が高いため、野菜の量や種類によっては、ケースや食品表面などに結露することがあります。結露が気になる場合は、食品にラップをしてください。
- ケースに水がたまると食品が傷みやすくなるので、やわらかい布でふき取ってください。
- 米、海苔などの乾燥食品を野菜室に収納する際は、密閉した容器（袋）に入れてから収納してください。
  乾燥食品が吸湿することがあります。

いろいろな機能

温度微調節（冷蔵室・冷凍室）

冷蔵室と冷凍室の温度設定をさらに細かく11段階に調節することができます。

1 **冷蔵室ドアと冷凍室下段ドアを開ける**

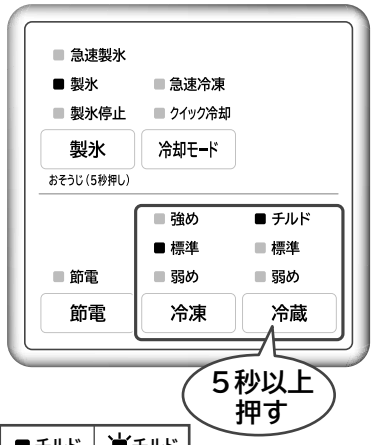
2 **冷蔵 をピーッと鳴るまで5秒以上押しつづける**

3 **冷凍室下段ドアを閉める**

4 **冷蔵 または 冷凍 を押して各室を調節する**

押すごとに下図のようにランプが順番に切り替わります。
通常は「標準」の設定でご使用ください。

操作パネル



冷蔵 （■標準：点灯、☀標準：点滅、□標準：消灯）

ランプ	□チルド □標準 ☀弱め	□チルド □標準 ■弱め	□チルド ☀標準 ■弱め	□チルド ■標準 ■弱め	□チルド ■標準 ☀弱め	□チルド ■標準 □弱め	☀チルド ■標準 □弱め	■チルド ■標準 □弱め	■チルド ☀標準 □弱め	■チルド □標準 □弱め	☀チルド □標準 □弱め
設定	さらに弱め	弱め	➡	➡	➡	標準	➡	➡	➡	チルド	さらに強め

冷凍 （■標準：点灯、☀標準：点滅、□標準：消灯）

ランプ	□強め □標準 ☀弱め	□強め □標準 ■弱め	□強め ☀標準 ■弱め	□強め ■標準 ■弱め	□強め ■標準 ☀弱め	□強め ■標準 □弱め	☀強め ■標準 □弱め	■強め ■標準 □弱め	■強め ☀標準 □弱め	■強め □標準 □弱め	☀強め □標準 □弱め
設定	さらに弱め	弱め	➡	➡	➡	標準	➡	➡	➡	強め	さらに強め

解除 **手順1、2、3の操作をする**

操作音がピピッと鳴り、通常の調節（3段階）に戻ります。

ドアアラーム

ドアのいずれかを１分以上開放すると、音でドアが開いていることをお知らせします。

ドアアラーム機能は、冷蔵室、製氷室、冷凍室下段についています。（冷凍室上段、野菜室にはついていません）

ドアの開放時間	30秒後 （「節電モード」設定時）	１分後	２分後	３分以降
アラーム音	ピーッ（３回）	ピーッ（３回）	ピーッ（５回）	ピーッ（連続） 音量大きめ
操作パネルのランプ	－	－	－	点滅

お知らせ

操作パネルのランプが点滅中はボタンを押しても反応しません。一度ドアを閉めてから操作してください。

ドアアラームと操作音の音量調整

ドアアラームと操作音の音を大きめにしたり、音を鳴らないように設定することができます。

ご購入時は、「標準」に設定されています。

冷蔵 を設定音が鳴るまで３秒以上押しつづける

操作音の音量が「標準」「大きめ」「切」に切り替わります。設定の切り替えを繰り返し、ご希望の音量（下表参照）に切り替えてください。

音量	標準	大きめ	切	標準
設定音	－	ピーピーッ	ピーッ	ピピッ

（ご購入時）

お知らせ

- ドアアラームと操作音の片方のみを音量調整することはできません。
- 音量を「切」に設定すると、ドアが３分以上開いている場合でも、ドアが開いていることをお知らせする操作パネルのランプ点滅はしません。
- 音量を「切」に設定した場合でも、「製氷おそうじ」のアラームは鳴ります。→**（P.25）**
  また、３秒以上押しつづける操作をした場合、操作完了後に設定音が鳴ります。
- 電源プラグを抜き差ししたり、停電復帰した後は「標準」設定に戻ります。

トリプルパワー脱臭（冷蔵室）

３種類の脱臭素材の組み合わせによって、硫黄系・チッ素系・アルデヒド系・酸系の４大臭気をふくむ庫内のさまざまなにおいを脱臭します。

節電する

節電モード

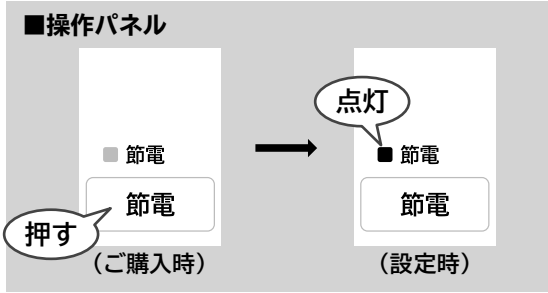
「節電モード」に設定すると、各室の冷却を弱める運転に切り替わるため、節電ができます。

冷蔵室ドアを30秒以上開放すると、ドアアラームが鳴り冷蔵室のLED庫内灯が減光して、ドアを開けている時間を短くするようお知らせします。また、長い時間ドアの開閉がない場合は、**庫内をゆっくり冷やすことで、さらに消費電力量を抑えます。**

設定するとき

ご購入時は、「切」（消灯）に設定されています。

節電 を押して「節電」ランプを点灯させる



解除するとき

節電 を押して「節電」ランプを消灯させる

お知らせ

- **冷却を弱める運転をするため、アイスクリームがやわらかくなるなど、冷えが弱いと感じられる場合があります。また、食品を冷凍させる場合の凍結時間や、製氷時間は通常より長くなります。**
- 「節電モード」設定中に「急速製氷」「急速冷凍」「クイック冷却」を設定した場合には冷却を弱める運転を一時解除します。（「節電」ランプは点灯したままです）
- 「節電モード」設定中に、冷凍室、冷蔵室の両方またはいずれかの温度設定を「弱め」でご使用の場合、「弱め」設定の各室については食品の鮮度保持のため、さらに冷却を弱める運転は行いません。

お手入れ

⚠警告 お手入れの際には、必ず電源プラグをコンセントから抜く

■汚れに気づいたら

すぐにふき取りましょう。見えない部分も年に一回はお手入れすることをおすすめします。

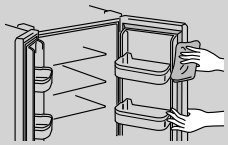
電源プラグ　年に1、2回

電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布でホコリなどをふき取る

火災や感電を防ぐために→(P.4)

ドアパッキング　月に1回

やわらかい布にぬるま湯をふくませて汚れをふき取る

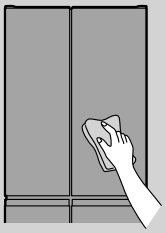


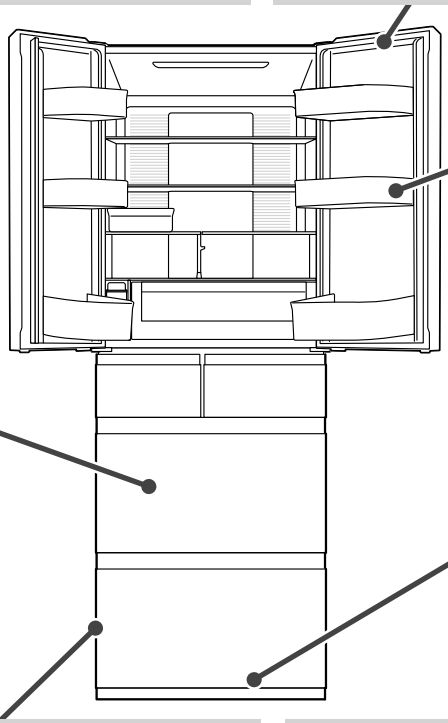
汚れやすいところなので、汚れをよくふき取ってください。

ドア表面　月に1回

やわらかい布にぬるま湯をふくませて汚れをふき落とし、その後、乾いた布できれいにふき取る

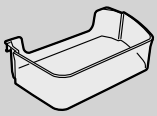
ドア表面にテープのりなどが残っているときは、プラスチック消しゴムでこすってから乾いた布でふくと取り除くことができます。





各棚ポケット　3か月に1回

やわらかい布にぬるま湯をふくませて汚れをふき取る

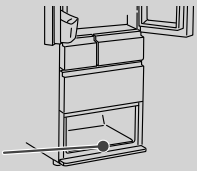


取りはずしかたは→(P.26)

汁受け部　月に1回

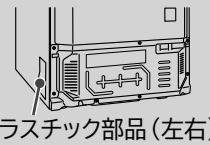
やわらかい布にぬるま湯をふくませて汚れをふき取る

汁がたまったり汚れた場合、ふき取ってください。



冷蔵庫背面・側面・床　年に1、2回

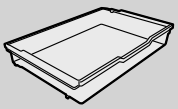
脚カバーを取りはずし、調節脚を床から浮かせ、冷蔵庫を手前に引き出し、汚れをふき取る



- 背面や側面下部のプラスチック部品周辺は空気の対流により、細かいホコリが付着して汚れやすいところです。傷のつきやすい床では、保護用の板などを敷いてください。
- 振動音が気になるときや、湿気による背面壁の変色、汚れが気になるときは背面壁から離して(2㎝以上)設置してください。

ケース　3か月に1回

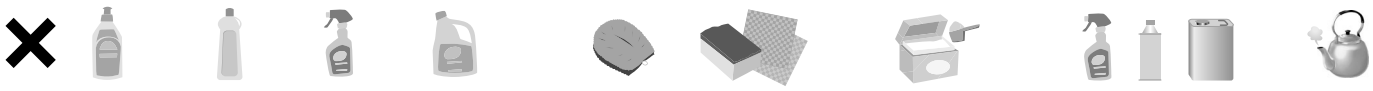
やわらかい布にぬるま湯をふくませて汚れをふき取る



野菜室の下段ケースを水洗いした場合は、ひっくり返して水を抜いた後、十分に水分をふき取ってください。また、歯ブラシやたわしなど毛足の長いものは使わないでください。ケースの傷つきや、うるおいユニットの破損の原因になります。

取りはずしかたは→(P.27)

お願い　●ドア、塗装面やプラスチック、ガラス面を傷めたり、変色させたりする場合がありますので、次のものは使わないでください。



アルカリ性、弱アルカリ性の台所用洗剤、ガラス用洗剤、塩素系漂白剤　たわし、研磨スポンジ、化学ぞうきん　みがき粉、粉せっけん　ベンジン、シンナー、アルコール　熱湯

洗剤の「家庭用品品質表示法に基づく表示」の「液性」の欄をご確認ください。

- 食用油、かんきつ類の果汁、食品の汁がついたときは、必ずふき取ってください。付着した部品が変色したり割れたりする場合があります。
- ケース類や引き出しレールの可動接触面には潤滑剤が塗られているのでふき取らないでください。(潤滑剤は食品衛生法に適合しています)
- マグネットや吸盤を本体側面やドア表面に付けた場合、跡が残る場合があります。
- 電源プラグを抜いた場合、操作パネルの設定が解除されることがありますので、お好みに合わせて再設定してください。
- 給水タンクや小物ケースなど樹脂製の部品は、食器洗い乾燥機や熱湯などで洗わないでください。(部品が変形するおそれ)
- 汚れが落ちにくいときは、台所用洗剤(中性)をぬるま湯で薄めて使い、水拭きをしてください。

お手入れ ～つづき～

特鮮氷温ルーム 月に1回

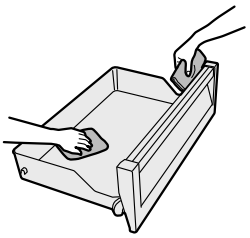
1 **特鮮氷温ケースを引き出す**

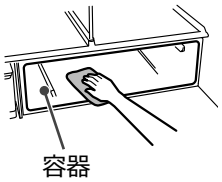
取りはずしかたは→**(P.26)**

特鮮氷温ケース内に収納されている食品は必ず取り出してください。

2 **下記部品を、やわらかい布にぬるま湯をふくませてふく**

※洗剤などは使わないでください。





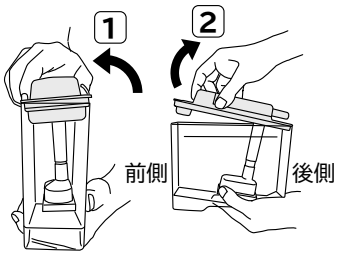
3 **特鮮氷温ケースを取り付ける**

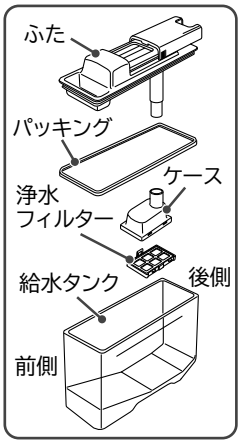
取り付けかたは→**(P.26)**

給水タンク 週に1回

1 **給水タンクを取り出し、ふたを取りはずす**

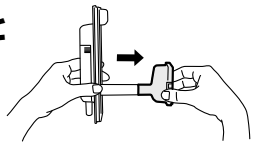
1 ふたを矢印の方向へ傾ける。
2 ふたの前側を持ち上げる。





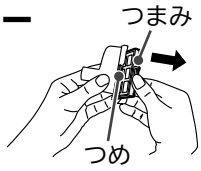
2 **ふたからパッキングとケースを取りはずす**

ケースは引っ張ってふたから取りはずします。



3 **ケースから浄水フィルターを取りはずす**

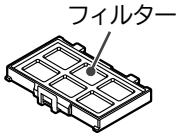
浄水フィルターのつまみを指で引っ張ってつめからはずしケースを取りはずします。



4 **給水タンクの各部品を水洗いする**

やわらかいスポンジで水洗いしてください。
洗剤などは使わないでください。

※浄水フィルターのフィルター部分は、スポンジを使わないでください。やさしく水で流してください。

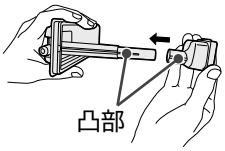


お知らせ

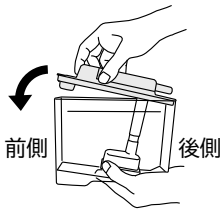
- 浄水フィルター交換の目安は約3～4年です。→**(P.35)**

5 **給水タンクの各部品を取り付けてから、水を入れてセットする**

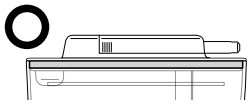
ふたとケースは凸部を合わせ差し込んでください。



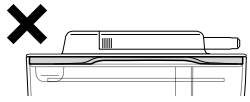
ふたの後側から差し込み、矢印の方向へ閉めてください。



○

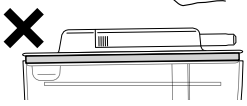


×



パッキングがねじれてしまっている。

×



ふたがしっかりと閉まっておらず浮いている。

お願い

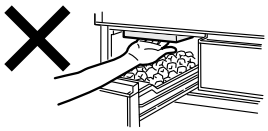
自動製氷機を長期間使わないときは、給水タンクのお手入れ後に、給水タンクをよく乾かして所定の位置にセットしてください。
（特に浄水フィルターはよく乾かしてください）

製氷おそうじ

はじめてお使いのとき　自動製氷機を１週間以上使わなかったとき

⚠警告

自動製氷機の機械部には手を入れない
（けがをするおそれ）



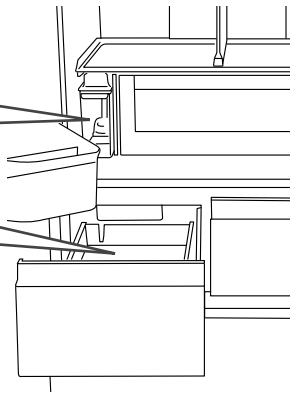
製氷皿や水の通り道を水洗いします。

準備

操作の前に、次のことをご確認ください。

給水タンク
・満水線まで水が入っている。
・「タンクセット位置」の線を越えて正しくセットされている。

製氷ケース
・氷が残っている場合は取り除いてください。



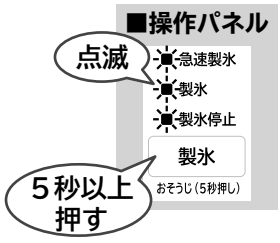
確認したら、冷蔵室以外のドアを閉めて、次の操作をしてください。

1

製氷 をアラームが鳴り出すまで5秒以上押しつづける

「急速製氷」「製氷」「製氷停止」の３つのランプが同時に点滅し、「製氷おそうじ」がスタートします。（約４分間）

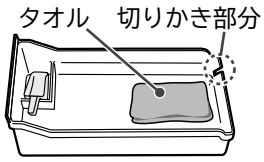
・冷蔵室のドアを閉めてください。
・約４分間ランプが点滅し、アラームが鳴りつづけます。
・「製氷おそうじ」は、途中で中止することはできません。
・「製氷おそうじ」中に冷蔵庫のいずれかのドアを開けると、正常に動作しない場合があります。
　終了するまですべてのドアの開閉を行わないでください。
・ドアアラームを鳴らないように設定しているときでもアラームは鳴ります。→**（P.21）**



2

アラームが終わったら、製氷ケースの奥にある切りかき部分をふさぐようにして製氷ケースの底にきれいなタオルなどを敷く

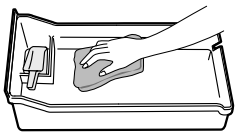
「製氷おそうじ」のときにたまった水が、製氷ケース奥の切りかき部分からこぼれるのを防ぐため、吸水用のタオルを敷きます。



3

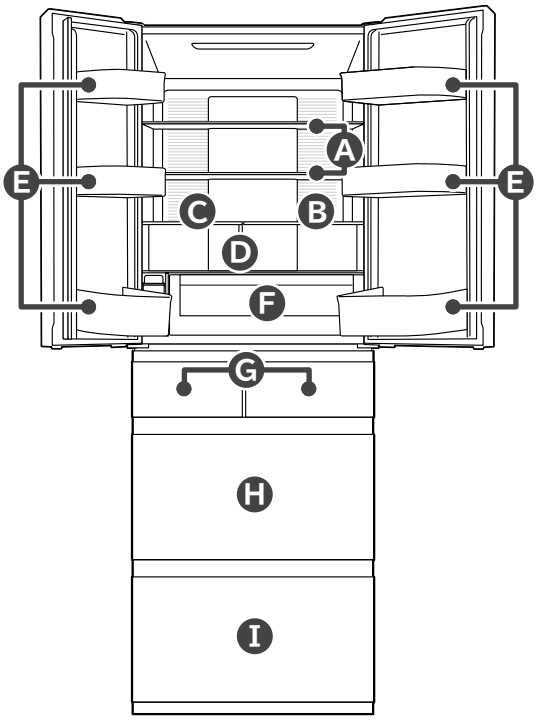
製氷ケースを取りはずし、ケース内の水をきれいにふき取ったあと製氷室にセットする

水分をふき取ったタオルなどは取り除いてください。
給水タンクに残った水は、そのまま製氷にお使いいただけます。
「製氷おそうじ」終了後は、「製氷」に設定されます。



部品の取りはずしかた・取り付けかた

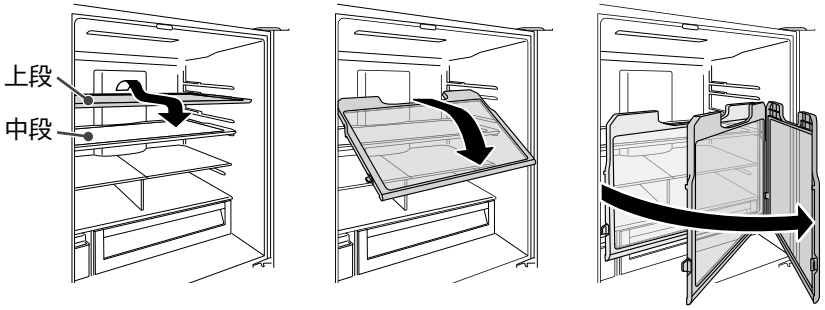
ご注意
- 部品を取りはずすときは、部品に載っている食品を取り除いてから行ってください。
- ここで説明している部品以外は、取りはずさないでください。
  説明していない部品を取りはずして掃除をしたいときなどは、修理に関するご相談窓口にご相談ください。→(P.35)



Ⓐ 高さかわるん棚上段・中段

お願い　棚を取りはずす際は、まず上にある棚を取りはずしてから、下にある棚を取りはずしてください。
棚を取り付けの際は、下に取り付ける棚から取り付けてください。

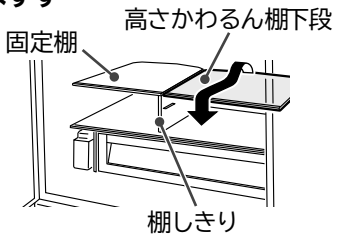
1 棚の奥を少し持ち上げ、手前に引き出す　**2 図のように棚を立てる**　**3 回転させて取りはずす**



ご注意　ガラス棚は重いため取り付け、取りはずしには十分注意してください。(落下すると打撲や破損によりけがをするおそれ)

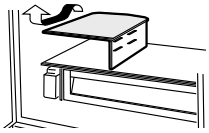
Ⓑ 高さかわるん棚下段

全体を少し持ち上げて取りはずす



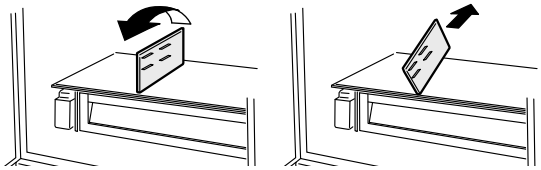
Ⓒ 固定棚

高さかわるん棚下段を取りはずした後、棚しきりを押さえながら、棚の奥を少し持ち上げ、手前に引き出す



Ⓓ 棚しきり

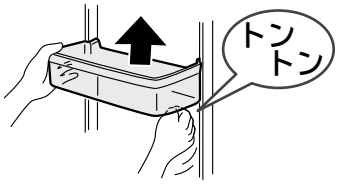
1 奥を持って手前に回転させる　**2 奥側に押しながら取りはずす**



Ⓔ ドアポケット

底面の左右を軽くたたきながら持ち上げて取りはずす
(固めに固定してあります)

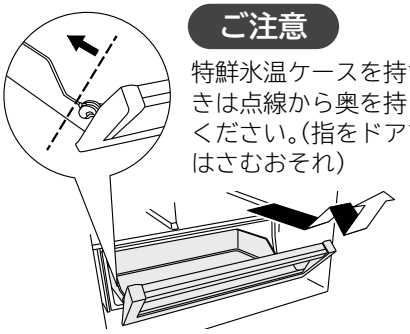
ご注意
取り付けの際は、最後までしっかり入れてください。
取り付けが不十分だとはずれて落下し、けがの原因になります。



Ⓕ 特鮮氷温ケース

取りはずしかた

特鮮氷温ケースを引き出し、手前を軽く持ち上げて斜め上に引き出す

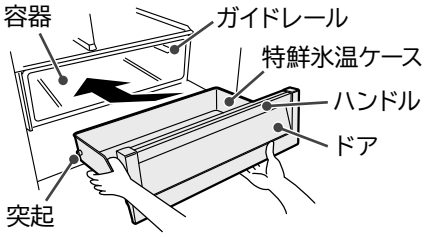


ご注意
特鮮氷温ケースを持つときは点線から奥を持ってください。(指をドアではさむおそれ)

取り付けかた

特鮮氷温ケースの左右の突起を容器のガイドレールの下に滑らせるように入れる

お願い
取り付けた後に何度か出し入れして、正しく取り付けたことを確認してください。

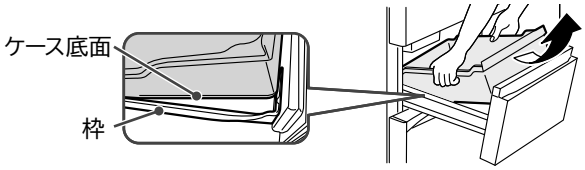


ご注意
特鮮氷温ケースを取りはずした際は、ドアやハンドルだけを持つのではなく、ケース全体を持ってください。(部品の破損につながるおそれ)

Ⓖ 製氷ケース（製氷室）・上段フリーザーケース（冷凍室上段）

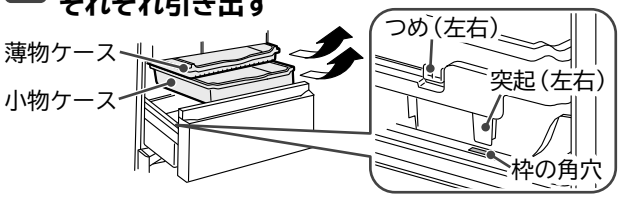
ドアを開け、ケースを手前に持ち上げる

取り付けの際は、ケース底面を枠に載せてセットしてください。

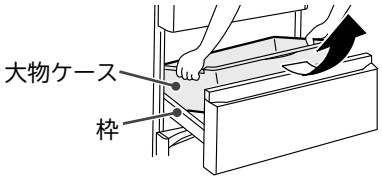


Ⓗ 薄物ケース・小物ケース・大物ケース（冷凍室下段）

1 ドアを開け、薄物ケース・小物ケースをそれぞれ引き出す

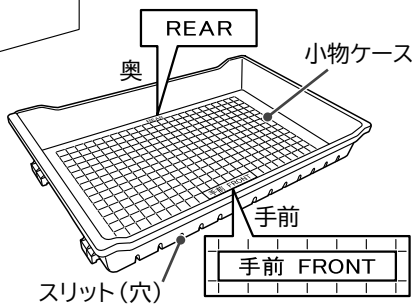


2 大物ケースを手前に持ち上げる



取り付けの際は、大物ケースの左右の突起を、枠の角穴に入れてセットしてください。
また、小物ケース左右のつめを大物ケースの外側にセットしてください。

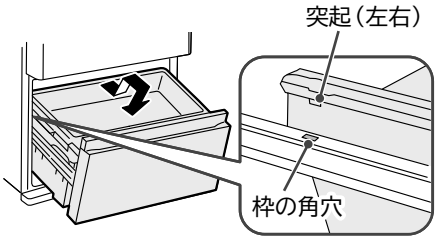
小物ケースはケース底面の「手前 FRONT」の文字とスリット（穴）がある方を手前にして取り付けてください。



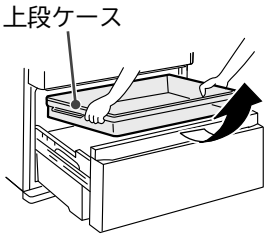
お知らせ
- **正しくセットされていないと、開閉時の異音や半ドアの原因になります。**

Ⓘ 上段ケース・下段ケース（野菜室）

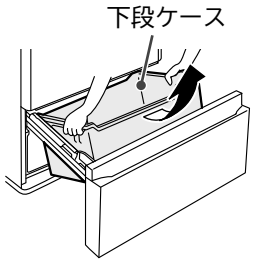
1 ドアを手前いっぱいに開け、両端を手前に持ち上げ、さらにゆっくりと引き出し、床におろす



2 上段ケースを引き上げる



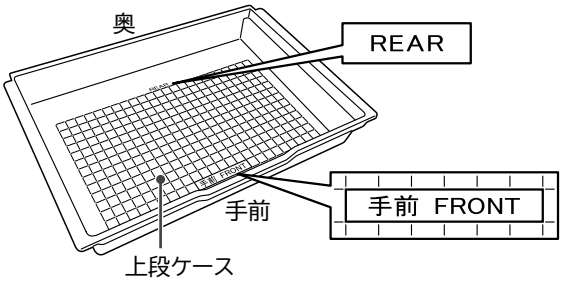
3 下段ケースを手前に持ち上げる



ご注意
- ドアを開けるときは足を近づけないようご注意ください。（足をドアにはさむおそれ）
- 下段ケース背面から水がたれる場合がありますのでご注意ください。

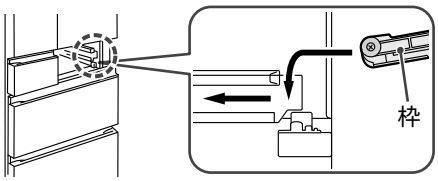
上段ケースはケース底面の「手前 FRONT」の文字がある方を手前にして取り付けてください。

お知らせ
- **上段ケースが正しく取り付けられていないと、ケース等の部品が破損することがあります。**
  取り付けた後は上段ケースのハンドルを持って操作し、正しく取り付けたことを確認してください。

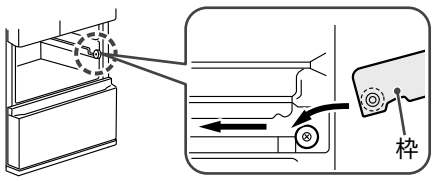


引き出しドアの取りはずしかた・取り付けかた（製氷室・冷凍室上段・冷凍室下段・野菜室）

製氷室・冷凍室上段

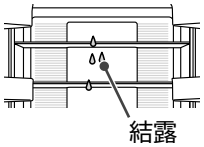


冷凍室下段・野菜室



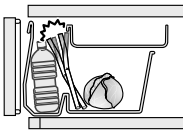
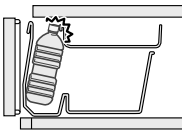
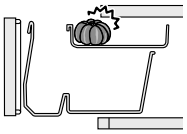
お困りのときは

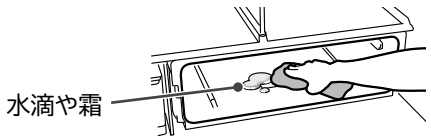
修理を依頼される前に、次の点をもう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、商品情報や使い方に関するご相談窓口にご連絡ください。→(P.35)
操作パネルが点滅している場合は、点滅している場所もご連絡ください。→(P.30)

	こんなときは	ここを確認してください	こうしてください。こういう理由です。
使いはじめ	よく冷えない	設置後、24時間以内ではありませんか？	設置直後は、冷えるまで24時間以上かかることがあります。食品はすき間をあけて収納し、開閉回数をできるだけ少なくしてお待ちください。 なお、夏場や食品が多い場合は、冷えるまでさらに時間がかかります。
	製氷できない	設置後、24時間以内ではありませんか？	設置直後は、冷蔵庫全体が冷えていないため、最初の氷ができるまで24時間以上かかることがあります。食品はすき間をあけて収納し、開閉回数をできるだけ少なくしてお待ちください。
冷えない	冷えない・アイスクリームがやわらかい	食品や袋がはさまり、半ドアになっていませんか？	はさまっている食品を取り除き、しっかりとドアを閉めてください。なお、収納するときは、食品の高さに注意してください。
		食品を無理に詰めたり、大量の食品を一度に入れていませんか？	食品はすき間をあけて収納してください。
		各室のケースは正しく取り付けられていますか？	正しく取り付けてください。→(P.27)
		冷蔵庫を設置した場所やすき間、周りの状況などによって冷えにくい場合があります。	正しく設置されているかご確認ください。→(P.6)
		「節電モード」になっていませんか？	「節電モード」を解除してください。→(P.22)
		温度設定が「弱め」になっていませんか？	よく冷えない部屋の温度設定を変更してください。→(P.10、17)
		夏場など、冷蔵庫の周囲の温度が高くなっていませんか？	
		ドアを長い間、開けていたり、頻繁にドアの開閉をしていませんでしたか？	冷蔵庫のドアを開けている間は庫内の温度が少しずつ上がります。開閉が頻繁または長い時間ドアを開けたままにしておくと、庫内の温度が下がりにくくなります。ドアを開けている時間を短くしたり、開閉回数をできるだけ少なくしてください。
		操作パネルの点灯しているランプが次々と変わっていませんか？	店頭用モードに入っていますので、解除してください。→(P.30)
霜や露がつく	庫内や引き出しの枠に霜や露、氷がつく	一時的に冷蔵室ドアや引き出しドアが半ドアになっていませんでしたか？	ドアを閉める際は食品や袋がはさまっていないかを確認し、しっかりと閉めてください。
		ドアを長い間、開けていたり、頻繁にドアの開閉をしていませんでしたか？	ドアを開閉したときに、空気中にふくまれる水分が、霜や氷となって、冷凍室の壁面や部品につくことがあります。ドアを開けている時間を短くしたり、開閉回数をできるだけ少なくしてください。霜や露は乾いた布でふき取ってください。
	冷蔵庫の外側に露がつく	冷蔵庫の周囲の湿度が高くなっていませんか？	雨の日など湿度が高いときは、露がつくことがあります。露は乾いた布でふき取ってください。
		温度設定が「チルド」や「強め」になっていませんか？	温度設定が「チルド」や「強め」のときはドア表面に露がつくことがあります。温度設定を「標準」にしてください。露は乾いた布でふき取ってください。→(P.10、17)
	冷蔵庫背面及び壁に露がつく	冷蔵庫周囲の湿度が高く、冷蔵庫背面と壁とのすき間が狭くなっていませんか？	冷蔵庫背面を壁から2cm以上離してください。→(P.6)
	冷蔵室の中が結露する	ドアを長い間、開けていたり、頻繁にドアの開閉をしていませんでしたか？	ドアの開閉回数が多いときや、冷蔵庫の周囲の湿度が高いときは壁などが曇ったり、冷気吹き出し口の周り→(P.10)に露がつくことがあります。故障ではありません。乾いた布でふき取ってください。  結露

	こんなときは	ここを確認してください	こうしてください。こういう理由です。
自動製氷	氷がまったくできない	操作パネルの「製氷停止」ランプが点灯していませんか？ 「製氷停止」に設定されています。	「製氷」または「急速製氷」に設定してください。 **→(P.14、15)**
		給水タンクの水が少なくなっていませんか？	水の残りが少なくなると氷ができないことがあります。 給水タンクの満水線まで水を入れてください。**→(P.14)**
		給水タンクが「タンクセット位置」の線を越えるまで奥にしっかりと押し込まれていますか？	給水タンクを「タンクセット位置」の線を越えるまで奥に押し込んでください。**→(P.14)**
		製氷ケースに氷以外のものが収納されていませんか？	製氷ケースから取り除いてください。
	氷がなかなかできない	氷が部分的に満氷線を越えてたまっていませんか？	氷をならしてください。**→(P.15)**
		ドアを頻繁に開ける、大量の食品を一度に収納するなどしていませんか？	庫内が十分に冷えていません。 庫内が冷えるまでできるだけドアの開閉を少なくしてください。 収納している食品同士の間隔をできるだけあけてください。
		冷蔵庫の周囲の温度が低くなっていませんか？	冬場は、氷ができるまで４時間以上かかることがあります。 ドアの開閉回数をできるだけ少なくしてお待ちください。
		「製氷停止」の設定から「製氷」の設定に変更した直後ではありませんか？	設定を変更した直後は時間がかかることがあります。 ドアの開閉回数をできるだけ少なくしてお待ちください。
		食品や袋がはさまり、冷凍室や製氷室が半ドアになっていませんか？	はさまっている食品は取り除き、しっかりとドアを閉めてください。
		「節電モード」になっていませんか？	「節電モード」を解除してください。**→(P.22)**
	氷に突起ができる	――	製氷皿の溝部分にたまった水が凍ったものです。 異常ではありません。
	ためた氷が丸くなる 氷同士がくっつく	古い氷をためたままにしていませんか？	古い氷は自然に小さくなったりくっついたりします。製氷スコップなどで氷が離れる程度であれば問題はありません。
		ドアを頻繁に開ける、大量の食品を一度に収納するなどしていませんか？	ドアを開けている時間を短くしたり、開閉回数をできるだけ少なくしてください。
		一時的に冷蔵室ドアや引き出しドアが半ドアになっていませんでしたか？	ドアを閉めるときは、しっかりと最後まで閉めてください。
	できあがった氷が小さい	給水タンクの水が少なくなっていませんか？	水の残りが少なくなると、小さな氷ができることがあります。 給水タンクの満水線まで水を入れてください。**→(P.14)**
	できあがった氷がはじめからくっついている	――	製氷皿の溝部分にたまった水が凍り氷同士がくっつくことがあります。異常ではありません。
	氷に白いにごりがある	――	水の中に溶け込んでいた空気の細かい泡が氷の中に閉じこめられたためです。
		ミネラルウォーターで氷をつくっていませんか？	水にふくまれるミネラル分が凍って白くにごることがありますが、害はありません。
	氷をつくらないときは	――	「製氷停止」に設定してください。 「氷をつくらない（製氷停止）」をご覧ください。**→(P.15)**

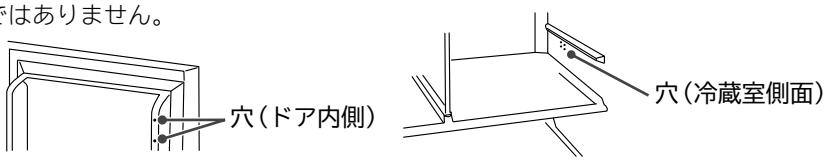
お困りのときは～つづき～

	こんなときは	ここを確認してください	こうしてください。こういう理由です。
操作パネルのランプが点滅している	**「節電」ランプと「冷凍」・「冷蔵」の温度調節ランプが3つ以上点滅している**	「節電」と冷凍「強め・標準・弱め」と冷蔵「チルド・標準・弱め」の７つのランプのうち、どのランプが点滅しているか確認してください。	右のチェックリストを使い、点滅しているランプに☑マークを付けて修理に関するご相談窓口にご連絡ください。 **→(P.35)** ☑マークを付けた番号(①～⑦)をご相談窓口にお知らせください。 (チェックリスト) ②☐強め ⑤☐チルド ③☐標準 ⑥☐標準 ①☐節電 ④☐弱め ⑦☐弱め 節電 冷凍 冷蔵
	「製氷」ランプ点滅または冷凍「強め・弱め」と冷蔵「弱め」ランプ点滅	製氷室に自動製氷機でつくった氷以外の食品や氷を入れていませんか？	製氷皿に、食品などがあたっている可能性があります。 製氷室を空にして「製氷おそうじ」を実施してください。 **→(P.25)**
	「急速製氷」「製氷」「製氷停止」ランプ同時点滅	製氷 を５秒以上押しませんでしたか？	「製氷おそうじ」を行っています。 約4分間で「製氷おそうじ」が終了し、「製氷」ランプが点灯します。「製氷おそうじ」は中止できません。 「製氷おそうじ」をご覧ください。**→(P.25)**
	すべてのランプ点滅	ドアが開いていませんか？ ドアに食品などがはさまって半ドアになっていませんか？	ドアが開いている場合は、閉めてください。 食品などがはさまって半ドアになっている場合は、取り除いてしっかりと閉めてください。
	点灯しているランプが次々と変わっている	――	店頭用モードに入っていますので以下の解除操作をしてください。店頭用モードのときは冷却運転をしません。 まず、冷蔵室ドア(左右)、冷凍室下段ドアを開けてください。 次に、いずれかのボタンを押し設定表示にしてから、 冷凍 をピピッと鳴るまで10秒以上押しつづけてください。 数秒間すべてのランプが点灯し店頭用モードが解除され、冷却運転を開始します。 最後に、すべてのドアを閉めてください。
野菜室が気になる	**野菜室の中が結露する**	水分の多い野菜を大量に収納していませんか？	野菜室はほかの部屋に比べて、湿度が高くなっているため、野菜の量や種類によって野菜室のケースや天井、食品表面に結露することがあります。異常ではありません。結露が気になるときは、ラップをかけて収納することをおすすめします。また、結露が多くなると、野菜室のケースに水がたまる場合があります。たまった水はやわらかい布でふき取ってください。
	野菜室のドアが閉まらない・野菜室のドアを開けたとき上段ケースがロックの位置に戻らない	上段ケースと下段ケースの間に食品などがはさまっていませんか？ 	はさまっているときは取り除いてください。
		上段ケースのハンドル部にペットボトル、食品などがあたっていませんか？ 	ハンドルに、ペットボトル、食品があたらないように保管してください。
		上段ケースと野菜室の天井の間に食品などがはさまっていませんか？ 	はさまっているときは取り除いてください。 また、野菜室の天井に食品などがあたった状態で無理にドアを閉めないでください。

	こんなときは	ここを確認してください	こうしてください。こういう理由です。
特鮮氷温ルームが気になる	**特鮮氷温ルームの内部や特鮮氷温ケース周辺に水滴や霜、氷がつく**	水分の多い食品を収納していませんか？	食品や空気中に含まれる水分により、ルーム内に露や霜がつくことがあります。 水分の多い食品はラップしていただくことをおすすめします。水滴や霜がついた場合はやわらかい布にぬるま湯をふくませてふき取ってください。 
ドアの段差や傾きが気になる	**左右のドアに段差がある ドアが傾いている**	設置場所は水平ですか？	性能上問題なくそのままお使いいただけますが、気になるときは、左右の調節脚で調整してください。**→（P.6）**
		床材がやわらかく、収納物の重みが加わり脚が沈んでいませんか？	冷蔵庫本体が傾く場合は、厚さ1cm以上の丈夫な板を敷いてください。
においが気になる	**プラスチックのにおいがする**	――	庫内にプラスチック部品を多く使用しているためですが、十分に冷えるにしたがってにおいは徐々に少なくなります。異常ではありません。
	氷がにおう	給水タンク、浄水フィルターが汚れたり、氷が古くなっていませんか？	「ぬめり」「水アカ」防止のため、定期的に水洗いしてください。**→（P.24、25）**
		――	水道水中の塩素分が凝縮されるため、塩素が強くにおうことがあります。
	庫内がにおう	においの強い食品をそのまま収納していませんか？	脱臭機能はすべてのにおいを完全に取り除くことはできません。 ラップをかけるなど密封して収納してください。
冷え過ぎる	**冷え過ぎる 凍ってしまう**	温度設定が「チルド」や「強め」になっていませんか？	温度設定を「標準」にしてください。**→（P.10、17）**
		周囲温度が5℃以下ではありませんか？	周囲温度が低いときは庫内が冷え過ぎることがあります。 温度設定を「弱め」にしてください。
		冷気吹き出し口の前に置いていませんか？	冷気吹き出し口の前には置かないでください。 蓋やラップをすることで食品の凍結を抑えることができます。
冷蔵庫が熱くなる	**冷蔵庫の側面やドアのふち部分が熱くなる 足元から暖かい風が出る**	――	冷却装置が運転するときに発生する熱を外に逃がすために熱くなることがあります。設置直後や夏場は50～60℃になることもあります。安全および性能上問題はありませんが、手をふれないでください。

お困りのときは～つづき～

	こんなときは	ここを確認してください	こうしてください。こういう理由です。	
音が気になる	音 マークがある項目はホームページから音が確認いただけます。			
	音がうるさい	床がたわんでいませんか？	冷蔵庫が振動して運転音が大きくなることがあります。 厚さ1cm以上の丈夫な板を敷いてからその上に設置してください。**→(P.6)**	—
		冷蔵庫が壁や家具などにあたっていませんか？	運転音が共振して音が大きくなることがあります。 冷蔵庫の周りにすき間をあけて設置してください。	—
		脚カバーがはずれていませんか？	運転音が共振して音が大きくなることがあります。 脚カバーはしっかり取り付けてください。**→(P.6)**	—
		こんなときではありませんか？ ・使いはじめなど、冷蔵庫内が冷えていないとき ・ドアの開け閉めが多いとき ・周囲の温度が高いとき ・「急速製氷」や「クイック冷却」「急速冷凍」に設定しているとき	庫内を早く冷やすため、モーターやコンプレッサーが高速運転して音が大きくなることがあります。 十分に冷えれば音は小さくなります。	音
	音が長くつづく	———	コンプレッサーをゆっくり運転させて、省エネ運転をしているため、音が長くつづくことがあります。	—
	ときどき音が大きくなる	———	庫内の温度変化に合わせて運転する力を調節しているため、ときどき音が大きくなることがあります。	—
	こんな音がしたときは（異常ではありません）	通常時に聞こえる音 (ブーン、ポー、キーン、コトコト、ウィーン)	庫内を冷やすためにモーターやコンプレッサーが動く音です。	音
		衝突するような音（コツコツ） 沸騰するような音（ポコポコ、ふつふつ） 炭酸が弾けるような音（シュワシュワ、チリチリ）	庫内を冷やすための冷媒が流れる音です。	音
		水の流れるような音（チョロチョロ） 肉を焼くような音（ジュー）	霜取りの際に水が流れたり、蒸発したりする音です。	—
		きしむような音（ピシッ、ギシッ）	庫内の温度が変化するときに部品が膨張してきしむ音です。	音
		引っかかるような音（コトコト） うなるような音（プー）	庫内の温度を制御する電気部品が作動する音です。	音
		衝突するような音（ガラガラ、ゴトゴト）	自動製氷機の製氷皿から氷が落ちる音です。	音
		水の流れるような音（ギュイーン、ゴボゴボ）	自動製氷機の製氷皿に水を入れる音です。 氷をつくらないときは、製氷を押して「製氷停止」にしてください。	音
		ときどきする音（カチッ、ウィーン、カッカッカッ、ブーン、キーン、カタカタ、ジリジリ）	庫内を冷やすための部品が動いている音です。	音

	こんなときは	こうしてください。こういう理由です。
その他	**本体に触れるとわずかに電気を感じる**	冷蔵庫が静電気を帯びる場合がありますが、安全上問題はありません。気になる場合はアースの取り付けをおすすめします。**→(P.7)**
	テレビ・ラジオなどに雑音、映像の乱れが生じる	この冷蔵庫からごくわずかに発生する電磁波のためです。 テレビ・ラジオ・インターフォンなどから離して設置してください。 アンテナ線などから離れたところの電源を使用し、アースの取り付けをおすすめします。**→(P.7)**
	プラスチック部品に傷のような細い線がある	プラスチックを成形する際に発生する樹脂の流れの跡です。透明な部品について特に目立ちやすくなっていますが、強度上の問題はなく割れに至ることはありません。
	ドア面や側面・天面にゆがみがある	冷蔵庫の製造工程上、ゆがみが生じます。 光源の位置や明るさなどによっては目立つことがありますが、異常ではありません。 また、性能上問題ありません。
	ドア内側や冷蔵室側面に小さな穴が開いている	この穴は冷蔵庫の製造工程にて断熱材を充填する際に内部の空気を逃がすための穴です。 傷や異常ではありません。  ※製品によっては、シールが貼ってある場合がありますが、剥がさずにご使用ください。
	停電した	復旧するまでの間はドアの開閉を減らし、新たな食品の収納はさけてください。 停電復旧したあとは、停電により各設定(温度設定や製氷モードの設定など)が変わる場合がありますので、再び設定してください。
	冷蔵庫を長期間使わない	庫内の食品をすべて出してください。 電源プラグを抜いて庫内や自動製氷機のお手入れをしてください。**→(P.23~25)** 2~3日間すべてのドアを開けて乾燥させてください。
	霜取りをする	この冷蔵庫は自動で霜取りをしますので、操作は必要ありません。解けた水は蒸発皿にたまり、自動的に蒸発します。
	冷蔵庫を移動・運搬する	「移動・運搬の準備(引っ越しをする)」をご覧ください。**→(下記参照)**
	ガラスが割れた(ガラス棚)	割れたガラスに触れず、すぐにお買い上げの販売店にご相談ください。
	ドアを閉めるとほかのドアが開く	ドアを勢いよく、閉めませんでしたか? 各室は冷気通路でつながっているため、ドアを閉める風圧でほかのドアが一瞬開くことがあります。
	ドアを閉めた直後開けようとすると重い	ドアを長い間、開けていませんでしたか? 庫内に入った空気が急に冷やされて、圧力が一時的に庫外よりも低くなるためです。 しばらくお待ちいただいてからドアを開けてください。
	振動音が気になるときや、湿気による背面壁の変色・汚れが気になるとき	背面壁から離して(2㎝以上)設置してください。**→(P.6)**

移動・運搬の準備(引っ越しをする)

1 食品や氷を取り出す

2 給水タンク・製氷皿の水をすてる
給水タンクをはずして「製氷おそうじ」をしてください。**→(P.25)**

3 電源プラグを抜く
移動直前でも問題ありません。

4 脚カバーを取りはずし、調節脚を上げる→(P.6)

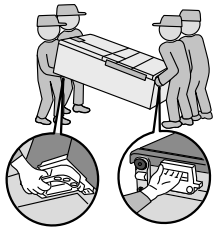
5 ドア・電源プラグ・コードをテープで固定する

6 移動・運搬時には保護用のシート・布などを敷く
床材を傷つけたり、水がこぼれたりすることを防ぐためです。

7 冷蔵庫の下に布などを敷き、冷蔵庫を後方に倒して、背面下部より水抜きをする

8 運搬用取っ手を持ち、2人以上で運ぶ

ご注意
輸送のときは横積みしないでください。
(冷蔵庫の故障の原因)



9 「使いはじめるまでの手順」に従って設置する→(P.6、7)

ご注意 移動や運搬をするときは、冷蔵庫をぶつけないようにご注意ください。(冷蔵庫や家財を傷つけるおそれ)

仕様

型式		R-H54XG
種類		冷凍冷蔵庫
定格内容積〈食品収納スペースの目安〉[L]	全定格内容積	540
	冷蔵室	278〈210〉
	うち 特鮮氷温ルーム	〈 14〉
	製氷室（ツースター）	22〈 7〉
	冷凍室上段（ツースター）	28〈 14〉
	冷凍室下段（フォースター）	109〈 69〉
	野菜室	103〈 69〉
外形寸法[mm]	幅	650
	奥行	701
	高さ	1,833
定格電圧[V]		交流100
定格周波数[Hz]		50／60 共用
電動機の定格消費電力[W]		95
電熱装置の定格消費電力[W]		176
年間消費電力量		冷蔵室ドア内側の品質表示ラベルに表示してあります。
質量[kg]		105

- 定格内容積は、日本産業規格（JIS C9801-3：2015）に基づき、庫内の温度制御に必要でない庫内部品（棚やケース等）を取りはずした状態で算出したものです。
- 食品収納スペースの目安は、日本産業規格（JIS C9801-3：2015）に基づき、庫内部品を取り付けた状態で算出したものです。
- 貯蔵室ごと（例えば、冷蔵室、冷凍室、野菜室等）に、定格内容積と併せ食品収納スペース（貯蔵室ごとの実際に食品を収納することができる空間の容積）の目安を表示しています。
- 冷蔵室の食品収納スペースの目安には特鮮氷温ルームの数値を含みます。
- （ ）内は、消費電力量試験での各室の目標温度の区分を示しています。目標温度の区分は日本産業規格（JIS C 9801-1：2015および9801-3：2015）に定められています。
- この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。またアフターサービスもできません。

消費電力量について

年間消費電力量は、JIS C 9801-3：2015測定基準によります。
使用時の消費電力量は、設置の仕方、各庫内の温度設定、周囲温度や湿度、ドア開閉頻度、新しく入れる食品の量や温度、使い方などにより変動します。

年間消費電力量測定方法の概要

	JIS C 9801-3：2015 消費電力量測定方法			
種類	冷凍冷蔵庫「スリースター」「フォースター」機種		冷蔵庫	冷凍庫
庫内温度	冷凍室	冷蔵室	冷蔵室	冷凍室
	−18℃以下	4℃以下	4℃以下	−18℃以下
周囲温度	32℃及び16℃			
周囲湿度	32℃測定時：70±5%　16℃測定時：55±5%			
消費電力量の表示	年間消費電力量（kWh／年）（周囲温度32℃測定による1日当りの消費電力量205日分と周囲温度16℃測定による1日当りの消費電力量160日分の合計）			

冷凍室の性能

冷凍室の性能は、日本産業規格（JIS C9607）に定められた方法で試験したときの、冷凍負荷温度（食品温度）によって表示しています。

記号	＊＊＊＊ フォースター	＊＊ ツースター
冷凍負荷温度（食品温度）	−18℃以下	−12℃以下
市販冷凍食品の貯蔵期間の目安	約3カ月	約1カ月

※市販冷凍食品の貯蔵期間

冷凍食品の貯蔵期間は、食品の種類・店頭での貯蔵状態・冷蔵庫の使用条件などによって異なりますので、一応の目安としてご覧ください。

収納できる食品の重さの目安

収納できる食品の重さには制限があります。収納する食品の重さの合計が、各棚、ケースの目安を超えないようにしてください。

※耐荷重（部品が破損しない食品の重さ）を表示しています。

	部　品　名	R-H54XG
冷蔵室	高さかわるん棚上段	16.5
	高さかわるん棚中段	16.5
	高さかわるん棚下段・固定棚	17.5
	特鮮氷温ルーム上の棚	9.5
	特鮮氷温ケース	4.5
	ドアポケット（右側）合計	16.0
	ドアポケット（左側）合計	12.5
製氷室	製氷ケース（貯氷スペースには自動製氷機でつくった氷以外は入れないでください →**(P.15)**）	
冷凍室上段	上段フリーザーケース	5.5
冷凍室下段	薄物ケース	4.5
	小物ケース	5.5
	大物ケース	13.5
野菜室	上段ケース	5.0
	下段ケース	16.5

単位：[kg]

別売部品

■次の部品を購入する場合は、必ず販売店にお使いの冷蔵庫の型式をご指定のうえ、専用の部品をお買い求めになってください。

こんなときに	商品名	型式	商品型式		希望小売価格
氷がにおうとき 浄水フィルターが古く汚れているおそれがあります。 （使用期間の目安は約3～4年です）	自動製氷用浄水フィルター	全機種共通	RJK-30		1,980円（税込）
地震にそなえて	冷蔵庫用地震転倒防止ベルト ※2セット必要となります。	全機種共通	R-826CV 300		1,144円（税込） ※1セットの価格です
ドアの段差や傾きが気になるとき	調整板（3枚）	全機種共通	R-Y6000 500		1,320円（税込）

※上記の希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

お客様ご相談窓口

この製品の使いかた・お手入れ・修理などは、お買い上げの販売店へご相談ください
または「日立家電品についてのご相談窓口」（下記）にご相談ください。
※下方の内容は予告なく変更させていただく場合がございます。最新情報は、日立家電品サポートページをご確認ください。

ご相談の前に本取扱説明書の「お困りのときは」をご確認ください。
また日立家電品サポートページで、「よくあるご質問」など各種情報をご覧いただけます。

日立家電 サポート 検索

商品情報や使い方に関するご相談
（機能・操作・設定などのご相談ができます）

電話のほかLINE、チャット、メールなど様々なお問合せ方法を準備しております。
詳しくは日立家電品サポートページをご覧ください。

TEL 0120-3121-11
携帯電話 050-3155-1111（有料）
FAX 050-3135-2134（有料）

■受付時間：9:00～17:30（月～金）
（土曜・日曜・祝日、年末年始は休業）

修理に関するご相談
（修理のご依頼やご相談ができます）

24時間受付希望の方は
「Web受付」へ

日立家電 修理 Web 検索

電話,FAXで受付希望の方は
「お電話受付」へ

TEL 0120-3121-68
携帯電話 0570-0031-68（有料）
FAX 0570-2006-57（有料）

■受付時間：9:00～18:00（月～土）
9:00～17:00（日、祝日）

部品のご購入について

部品のご購入は、商品お買い上げの販売店、お近くの日立の家電品取扱店（お取り寄せ）または「パーツショップ」へご依頼ください。

日立家電 部品 検索

https://store.kadenfan.hitachi.co.jp/store/pages/parts.aspx

- 通話内容の確認と応対品質向上のため、録音させていただきます。
- 予期せぬ障害などでお電話が切れてしまった際、折り返し電話を差し上げられるよう、発信者番号の通知をお願いします。「非通知」設定されているお客様は、はじめに「186」をダイヤルしておかけください。
- 営業時間外やお電話が繋がりにくい場合は、時間を変えてお掛け直しをお願いします。
- 修理ご依頼の前に、当社の修理対応方針につきまして、「修理ご利用規約」をご覧ください。

日立修理ご利用規約 検索

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報お取り扱いについて】
- 個人情報は当社の個人情報保護方針に則り適切に管理いたします。
- 当社の個人情報保護方針につきましては、https://corp.hitachi-gls.co.jp/utility/privacy をご覧ください。
  ※URLは変更する場合があります。日立の家電品ホームページにてご確認ください。
- 製品のサービスの提供、各種お問い合わせへの対応に利用させていただきます。また、アンケートをもとにした製品やサービスを向上させるための分析に利用させていただく場合があります。

この J-Moss グリーンマークは、特定の化学物質（鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB（ポリブロモビフェニル）・PBDE（ポリブロモジフェニルエーテル））の含有率が JIS C 0950:2021 による基準値以下であることを示しています。（規定の除外項目を除く）
詳しい情報は、当社のホームページでご覧いただけます。https://corp.hitachi-gls.co.jp/_ct/17577871

愛情点検

長年ご使用の冷蔵庫の点検を！

こんな症状はありませんか？	● 電源コード、プラグが異常に熱い。 ● 電源コードに深い傷や変形がある。 ● 焦げ臭いにおいがする。 ● 冷蔵庫床面にいつも水がたまっている。 ● ピリピリと電気を感じる。 ● その他の異常や故障がある。	ご使用中止	故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店に、点検・修理をご相談ください。費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

廃棄時にご注意願います
家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの冷蔵庫または冷凍庫を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

保証とアフターサービス

修理を依頼されるときは（出張修理）

「お困りのときは」→(P.28～33)にしたがって調べていただき、なお異常があるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ご連絡していただきたい内容

アフターサービスをお申しつけいただくときは、下のことをお知らせください。

1. 型式：冷蔵室ドア内側の銘版（シール）に記載されています。
2. 故障の状況：できるだけ詳しく。

■保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

■保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金＝技術料＋部品代＋出張料 などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

■補修用性能部品の保有期間

冷蔵庫の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後9年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

日立冷凍冷蔵庫保証書　出張修理

HITACHI

※型　式		
※お買い上げ日	年　月　日	
保証期間（お買い上げ日から）	本　体：1年間	
	冷凍サイクル：5年間	
※お客様	ご芳名　様	
	ご住所〒 電話　（　）	
※販売店	住所・店名 電話　（　）	

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

●冷凍サイクルとは
コンプレッサー、凝縮器、毛細管、冷却器および配管で構成された冷媒循環回路のことです。なお、冷却器用ファン、冷却器用ファンモーターも含みます。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付けラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   (イ) 保証期間内に故障して無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申し付けください。
   (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、「お客様ご相談窓口」→(P.35)の修理のご依頼や修理に関するご相談窓口にご連絡ください。
   (ハ) この商品は出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書を必ずご提示ください。
2. ご転居の場合には事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
3. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼になれない場合には、「お客様ご相談窓口」→(P.35)の修理のご依頼や修理に関するご相談窓口にご相談ください。
4. 離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
5. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障及び損傷。
   (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送等による故障及び損傷。
   (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障及び損傷。
   (ニ) 一般家庭用以外《例えば業務用等への長時間使用及び車両、船舶への搭載》に使用される場合の故障及び損傷。
   (ホ) 故障の原因が本機以外にある場合で改善を要するとき。
   (ヘ) 本書のご提示がない場合。
   (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
6. 食品の補償等、商品修理以外の責はご容赦ください。
7. 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
8. 本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。
9. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.

●お客様にご記入いただいた保証書の写しの個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または「お客様ご相談窓口」→(P.35)の修理のご依頼や修理に関するご相談窓口にお問い合わせください。

日立グローバルライフソリューションズ株式会社　〒105-8410 東京都港区西新橋 2-15-12　R-H54XGⒷ

お問合せ先：「修理に関するご相談窓口」0120-3121-68、携帯0570-0031-68
詳しくは「お客様ご相談窓口」のページをご覧ください。